

ヤマハニュース 6

YAMAHA NEWS NO.336 1991

ヤマハ人と技術 ● 感動創造企業を目指して — 2

受け継がれる伝統とチャレンジ精神

特集 ● 人とバイクの友好生活 — 6

みんなバイクが好きなんだ

NEW MODEL ● 新しい風を呼ぶ — 18

ウインドツアラー *Diversion*



感動創造企業を目指して

ヤマハ **人と技術**

受け継がれる伝統とチャレンジ精神

モーターサイクルスポーツ 人と技術の挑戦



90年の世界選手権ロードレースはW・レイニー、J・コシンスキーがYZR500/250によってシリーズタイトルと、メーカータイトルを獲得。国内では8時間耐久レースでYZF750の優勝と、多くのヤマハファンに熱い感動を呼び起こした。

1955年、富士登山レースでヤマハ第一号車YA1の優勝からはじまるヤマハのレース史。今号はMS開発部におじゃまし、連続と受け継がれる「ヤマハレーシングスピリッツ」に触れてみた。

文・山本一成(モーターサイクルジャーナリスト)

レース活動を通じた 技術の向上と人との交流

ヤマハ袋井テストコースにほど近い古寺「可垂斎」。毎年、正月明けにこのお寺で、ヤマハワークスライダーとスタッフは、1年間の活躍と安全を祈願する。座禅を組み瞑想のあと選手たちは、ご住職の説教を賜る。

「レースで行き詰まったとき、精神面で大きな手助けとなっています」とは

平選手だが、それは他のワークスライダーも同じ感想を持っているという。ヤマハは、1955年の富士登山レース（優勝）参戦以来、本格的なレース活動を休むことなく続けている。その間、ケニー・ロバーツ、平忠彦選手をはじめとするレース界を代表するライダーを次々と輩出してきた。そしていま先輩を乗り越えようと、多くの若手ライダーがしのぎを削っている。'60年

代初頭から世界に向けていち早く市販ロードレーサー、TDシリーズをリリースし、'70年代に入って、その名をTZに変え、今もなおロードレース界のトップブランドマシンとして君臨している。そして'90年、世界選手権ロードレースで、500ccクラスと250ccクラス共にライダーチャンピオン、メーカーチャンピオンの4冠に輝いたことは、いまも記憶に新しい。

——ヤマハのこうした精神的なレース活動を支える「スピリッツ」とは？
そしてなによりも、レース活動を継続するヤマハの姿勢——。私がずっと前から知っていたこの「宿題」を持って、ヤマハ発動機、MS開発部をお訪ねした。

応対してくださった責任者の黒田宣一郎部長は「MS開発部の目的は三つあります」と前置し、レース活動の基本姿勢を説明してくれた。

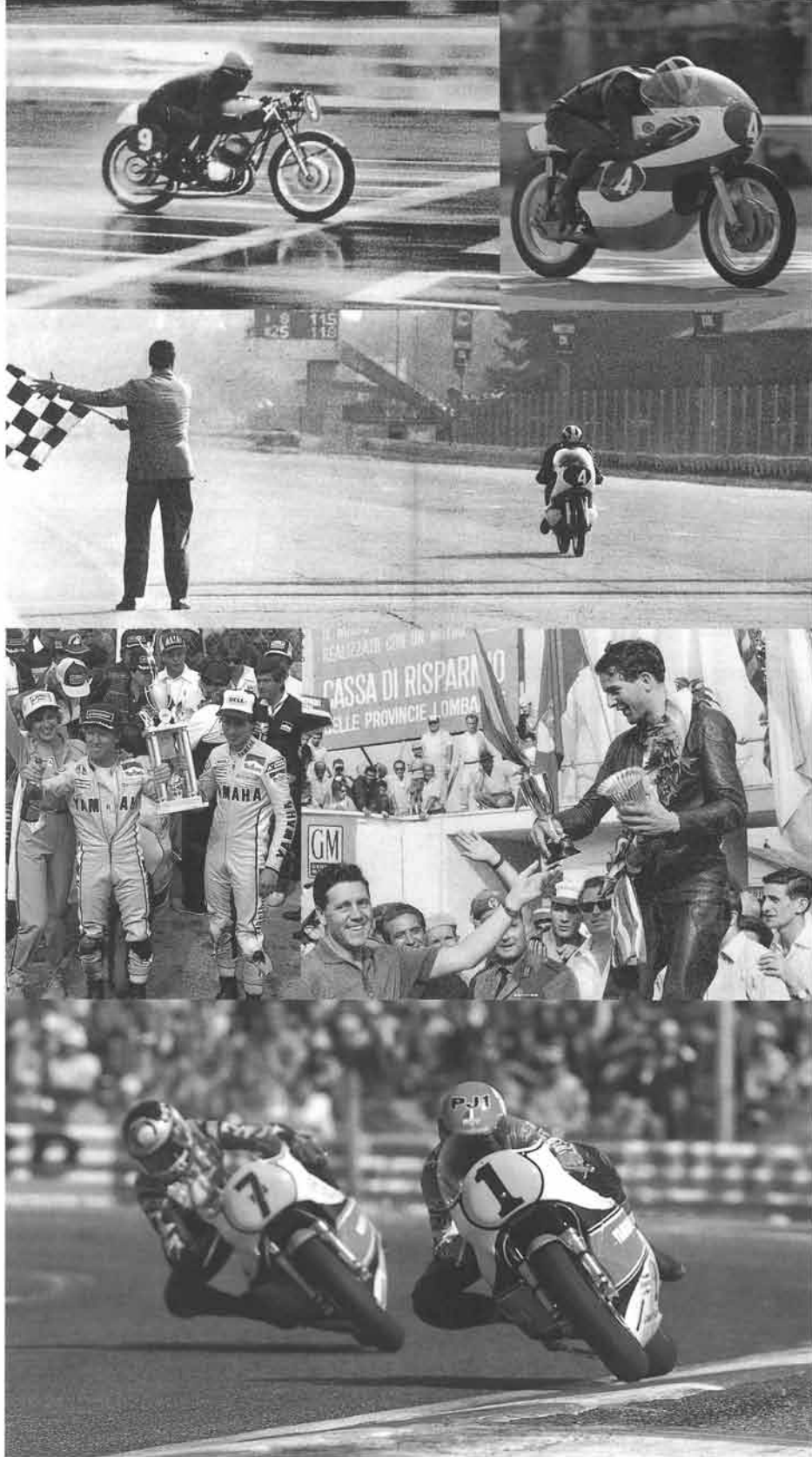
「一つは、レース活動を通して技術の向上をはかること。二つは、技術を通して人の交流を生むこと。三つ目として、モータースポーツの普及です。」

こうした考えの元で、役員のはとんどの方が、なんらかの形でレースにかかわっています。ですから、重要な意思決定の会議でも、ツーと言えばカーというか、理解度がすごく深いのです。それは例えば、レース計画のプレゼンテーションで、開発部のプランに対して「こんなのでいいの、もっと積極的にやるべきだ」と、逆にハッパをかけられることがあるという。

「社内のトップが、レース部門を温かく見守ってくれているんですね。この前向きなムードが、ヤマハのレース史を築きあげてきたといえます」

選手としてだけでなく 人間としての魅力を育む

レースはヒューマンスポーツ、といわれる。人と技術がおりなすエネルギーの爆発。これは人をいきいきさせずにはおかない。生への活路といえる。





そこに、企業効率や、資金回収といった打算が入り込んだら、どうなるだろう。その答えはヤマハが、36年間レース活動を遂行してきた歴史で明解に示されている。打算の入った活動の継続は難かしいと思っし、ましてやスピリッツは生まれてこない。

継続から生まれる伝統、チャレンジ精神……。ヤマハのレース活動は、モーターサイクル部門だけではない。マリオン、スノーモビル、カート、そしてF1の世界で人と技術がエネルギーを活動を展開している。そして、これらのレース活動を通して「世界の人々の暮らして、豊かな喜びを贈る夢のある商品づくり」を目指している。

話をMS開発部にもどそう。MSとは、モーターサイクルスポーツの略だ。MS開発部は、1985年に設けられている。活動のジャンルは多岐にわたる。ロードレースGP500、250、TTF1、モトクロス、トライアル、パリ・ダカ、そして市販レーサーTZ

やYZ、TYなどの開発が主なところだ。総括者の黒田部長は、トヨタ2000GTやトヨタ7などの自動車部門レース活動を担当していた。

「うちの活動には、いい意味での徒弟制度があって、先輩と後輩の関係が実にしっかりしている。選手としてだけでなく、人間として大切なことを伝授していくムードを持っているんです。この世界に精通した野口晴晴さんをはじめとした、そうそうたる人たちが、ヤマハを見守ってくれている。こうした人脈と結果が、現役選手には誇りとなり、精神を高揚させ、伝統をつくり上げていくんだと思っています」

となれば、あのケニー・ロバーツを紹介しないわけにはいかない。世界のトップに君臨したケニーは、いまも存じのようにマシン開発、チーム運営で才腕をふるっているが、あらゆる人に対しても気配りのできる人である。

そのケニーに対してヤマハは「人対人」の関係を通してきた。レースは技術の積み重ねだけでなく、人との信頼関係の積み重ねでもある。ケニーがヤマハとの関係を崩そうとせず、チームが最強であり続けようとしている大きなポイントが、ここにある。

ヤマハスピリッツの新たなアプローチ

黒田部長は続ける

「レースとは、技術とライダーが常に限界に挑戦することだと考えています。その結果、ヤッターという満足感、達成感を味わえる。本気で取り組む。こ



れがなければ『感動』は感じ取ってもらえない、と思うね」
そして部長は、マシン作りに対して「まずライダーを優先してマシンを作るんです。操りやすいマシンを作る。これが技術なんです。去年のGPでもコントロールの難しい雨の日での速さや、転倒率の低さがそれを証明しています」まさに至言である。

増やし、GP250ccクラスは、ワークスマシンからTZのモディファイアマシンで参戦する、という試みである。「憧れ、夢として、やはり500ccはもっと盛り上げたい。そこでヤマハは、YZR500をできるかぎり多くのライダーに提供しようと、国内外の両方で増やしました。'92年は、この姿勢をさらに発展させる予定です。」

「おかげさまで'90年は、500cc、250ccの両GPのナンバリーを獲得しました。そこでMS開発部が、社長賞を授賞したんですよ。精力を注ぎ込んだ結果としてのGP制覇でしたから、スタッフ全員、もう、本当にうれしかった。それぞれに楯を送りましてね、喜びを分かち合いました。そして、スタッフの家族も参加して、地曳綱大会をやったんですよ。なんと80人も集まったんですよ。みんな最高の笑顔でした」
話す黒田部長のなんともいえない表情に、熱いのがこみあげてしまった。



MS(モータースポーツ)開発部・プロフィール

《概要》従事者数：約100名
内容：TZ、YZ、TYといった市販レースマシンの開発とロードレース、モトクロス、トライアル、パリ・ダカールラリーに出場するワークスマシンの開発と運営

《ロードレース・タイトル史》

1955年第3回富士登山レース125ccクラスでヤマハ第1号車YA1の優勝から始まるヤマハのロードレースの歴史。
【海外】メーカーチャンピオン/125ccクラス4回、250ccクラス12回、350ccクラス3回、500ccクラス6回、F750クラス1回
ライダーチャンピオン/125ccクラス2回、250ccクラス6回、350ccクラス3回、500ccクラス8回、F750クラス3回
【国内】ライダーチャンピオン/90ccクラス2回、125ccクラス3回、250ccクラス7回、251cc以上クラス3回、350ccクラス4回、500ccクラス7回、750ccクラス7回、F3クラス2回



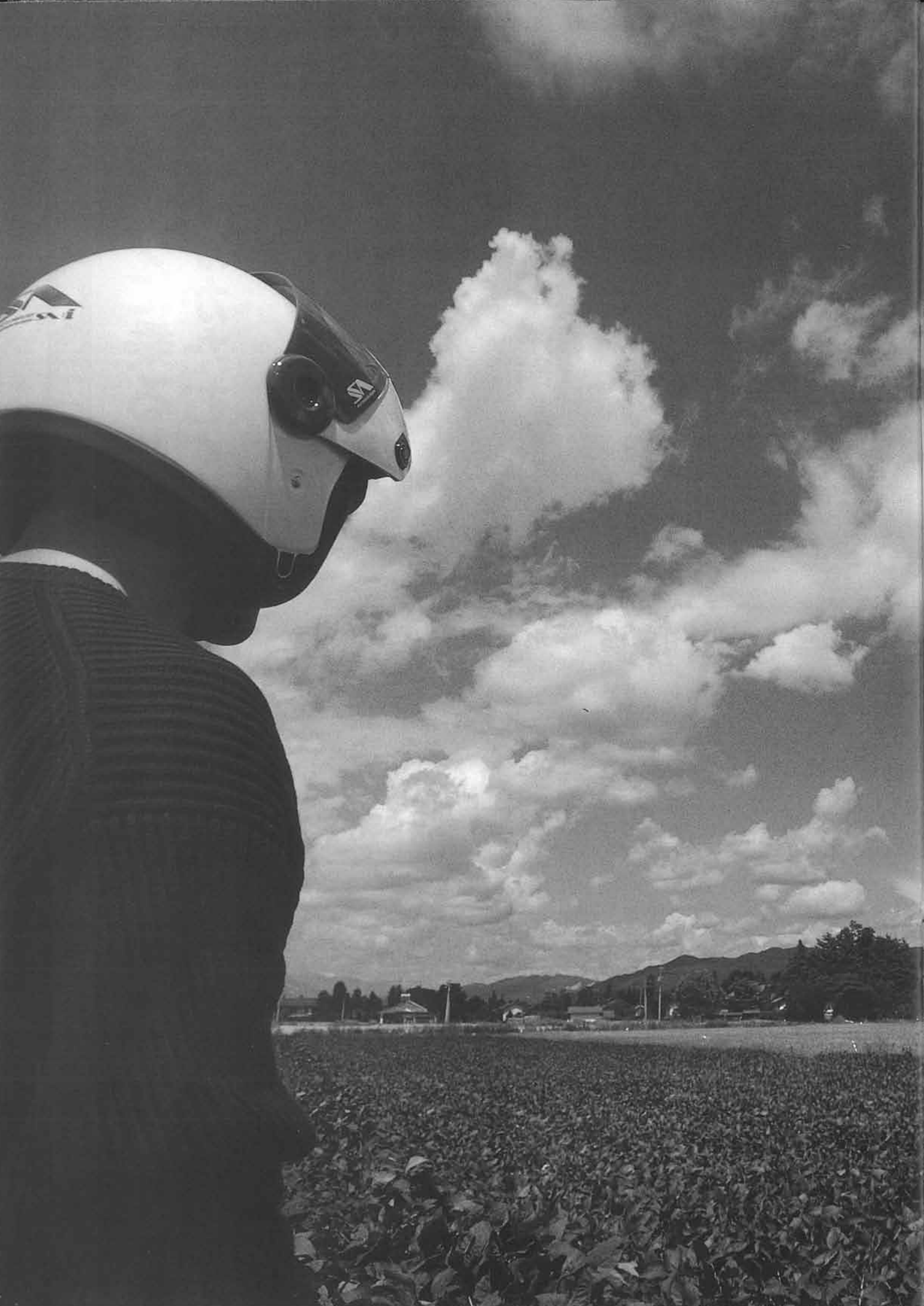
MS開発部のまとめ役である黒田宣一郎部長

特集●人とバイクの友好生活



好きなバイクがみんな

90年代は「ゆとりの時代」
人びとは働く手を休め
いま自由な時間を
クリエイトしはじめた
そんな生活のひとコマに
スポーツバイクが一台ある
《人とバイクの友好生活》
人にやさしく 地球にやさしい
人とバイクの新しい関係がはじまる



バイクに乗ると地球がかたむくんだ！

お父さんが変わった！

多忙を極める日常。からだも心も解き放ち、リフレッシュしたい……。これが中村徹さんが、バイクに乗る動機であった。そのとき35歳。東京・江戸川区で精密機器部品を製作する工場を持つ徹さんのちよつとした変身であった。

しかしそれが、2年後には奥さまをまきこみ、さらに2人の子供までもがバイクの世界に魅了されるとは、徹さん自身、思いもよらなかった。徹さんは、どちらかといえばクルマ好きであった。仕事を終え気晴らしに一晩中、走ることもあった。クルマは、一人になれるための道具で

もあった。とはいえ、クルマは渋滞にひっかかるとお手上げだ。イライラがつのるばかりとなる。

「渋滞を考えただけのおつこうになる。でもバイクはちがうと思ったんです。快適にバイクを走らせるライダーは、からだ全体から自由、開放感を発散しているように映ったんです。魅かれました」

徹さんが、日常からの解放をバイクに求めた裏には、「リフレッシュ」の他に「自由」「解放感」も隠されていたのだ。 「早朝、ひんやりとした空気をからだ全体に受けて走る。美しい風景が、クルマとは比べものにならない広がりで見開く。夕陽を浴びて帰路に

つく……。むちゃくちゃ感動した」と徹さんは言う。

「でも、1年たったころから、自分の体験を誰かと一緒に共感できたら、もっと素晴らしいんじゃないか、と思うようになったんです。誰かと言いましたけど、やっぱり家族ですよ。そこで、女房を誘ったんです」

夫が夢中になる世界を妻も体験！

「バイクの何がそんなに楽しいのかわからない。不思議でしかたなかったんです」そう打ち明けるのは奥さま、みどりさん。でもそれは徹さんに誘われる前、夫の背中を抱いて、風を切った瞬間、みどりさんは、家事や育児に追われ

る生活からワーブした。

「あっ！これなんだ。この解放された爽快感にお父さんは夢中なんだ」ワンデイトリップしたみどりさんはすぐ教習所に通いはじめた。教習所からアザをつくって帰るみどりさん。しかし、わずか1時間オーバーで免許を取得したのだ。晴れて夫婦そろってのツーリングが実現……。だが2人にはまだ6歳と2歳の子供がいた。



いま中村さんご一家にとって、バイクは家族の一員だ

そこで2台のバイクをみどりさんの実家（栃木県・矢板市）に置くことにした。自宅から実家までは、家族で楽しいドライブ。子供を実家にあずけたその先は、夫婦のフリータイム。中村家オリジナルツーリングスタイルが完成したのだ。

4人家族がひとつになるバイクの旅

父と母が夢中になっている世界。「すうい。いっしょに行きたい」と子供たちが主張しはじめた。「いつかは子供たちを後ろに乗せて旅に出よう」子供たちと親の願い、夢がふくらんでいく。そして実現した。

この春のゴールデンウィーク。3泊4日の磐梯高原ファミリートーリングに中村さん一家は出発したのだ。





「ばく、お父さんの後ろに乗った。ピースサイン、数えられないくらい出したよ。白バイのひとつにも。そしてたら手を振ってくれたんだ」7歳になった哲くんが、初めてのツーリング体験を興奮しながら「発表」してくれた。

「景色が、だんだん変わって、牛の臭いがしてくるの。あたたかかったり、寒かったり。道の横のお店で、タコ焼きでしょ、焼きトウモロコシでしょ、とってもおいしかった。それとね、お母さんといっしょに曲がったとき、地球がかたむくの。驚いちゃった」11歳になったお姉ちゃん、かおりちゃんの新たな発見だ。

「クルマだと、目的地まで生活をそのまま運んでしまう。でもバイクは、生活から切り放してくれる。そして、自然の変化をダイレクトに感じ、旅人になれるんです。この旅の楽しさを、子供たちは体験したと思うんです。地球がかたむく。という長女の表現は、すごいと思いませんか」と徹さん。

父親一人だけをリフレッシュさせたバイクが、いま気づいてみれば家族のみんなをそうさせている。

中村家は近く改築される。車とバイク2台の駐車スペースと、整備スペースをそのとき作る予定だという。「子供たちが、これからは私たちにツーリング先をオーダーしてくるでしょうね」と、奥さまはほのかな期待を寄せている。

父親、徹さん42歳。人生を楽しんでいる。

再びバイクに引き戻した 風の記憶が今も私の原点

「バイクは肌で風を感じられる
それが一番の魅力だね」

そう言って、丸亀さん(43歳)は目
を細めた。

幼ない頃、よく近所のオジサンた
ちにバイクに乗せてもらった記憶が
ある。それがどんな車種だったのか、
なぜ乗っていたのかはわからない。

ただ、リヤシートに座って、運転
者の背中にしがみつきながら見た風
景、心地よく頬をたたく風の感触や
においだけは、今も鮮明に覚えてい
る。

「風を感じる、という言い方は少し
キザかもしれないけど……」。丸亀さ
んはややテレながら、
「自転車やクルマ、あるいは自動車、

飛行機とか、ほかにも子供が興味を
持ちそうな乗り物はあるのに、私に
とってはその時の印象がすごく強い
から、乗り物っていうとやっぱりバ
イクが一番好きですね」と話す。

初めてバイクにひとりで乗ったの
は10代の頃。およそ25年以上も昔の
ことで、ヘルメットの着用義務さえ
なかったから、まさに風を全身で感

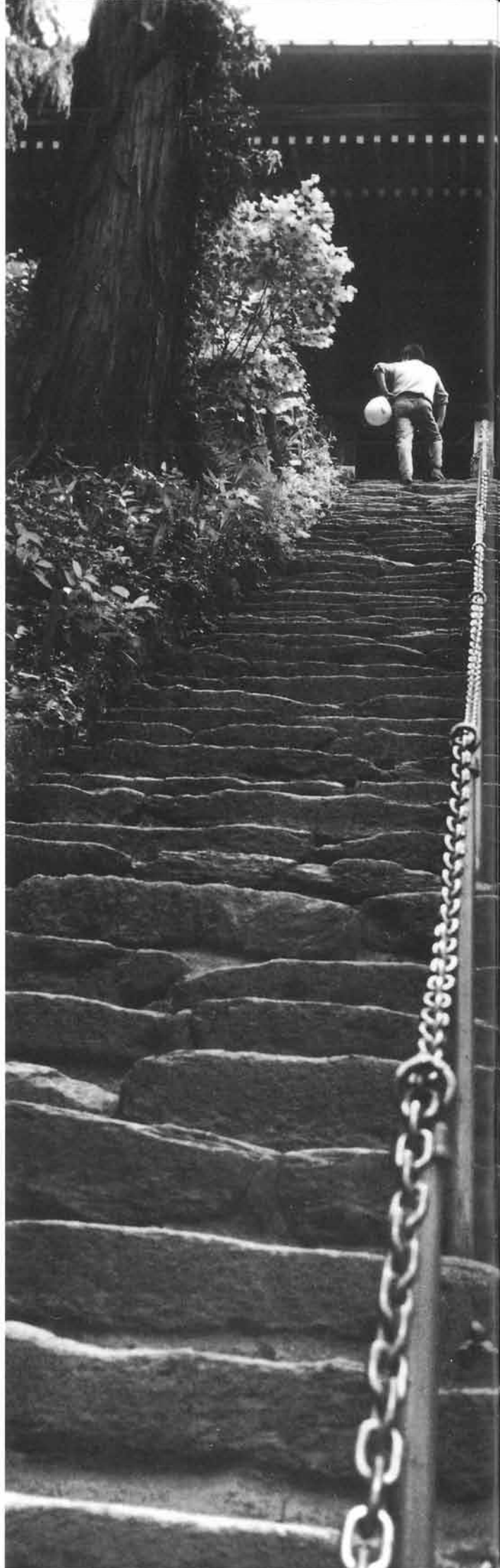


じながら走れた時代だった。
バイクへの愛着がぐっと深くなっ

ていった。
ところが、20歳を過ぎたあたりで

丸亀さん(左)の夢は、大型免許、
そしてオーストラリアツーリングと大きく広がる





丸亀さんはバイクと離れてしまふ。ある事情から、免許を失効してしまつたのだ。

仕事の関係上、普通四輪の免許はすぐに取り直したのだが、どうしても必要というわけではなかつたバイクのほうはそのまま。

「そのうち取りに行こうと思つていたら、いつの間にか10年以上もたつていた」と丸亀さんは笑う。

しかし、通信販売商社の仕入れ担当として関東を中心に新潟、中部地方にまで毎日忙しくクルマで回るうち、

「ここをバイクで走つたら、どんなに気持ちいいだろう、とつい考えてしまうような風景があらちこちらにあるんですね。

そんな時はクルマの窓を全開にして、少しでもバイクに乗つてゐる時の

感じを再現しようとするんだけど、やっぱり何か違う」

クルマは単純に便利な道具であつて、楽しむ乗り物といえばバイクしかない、そんな思いが心の底にいつもあつたのだ。

「バイクは私にとって原点 そこへ戻りたいと思つた」

丸亀さんは、すでに30代後半に入つていた。今さら、という躊躇もあつたらしい。が、幸い、身近かに今なおリッターバイクを乗り回す先輩がいた。

その人のさまざまなアドバイスや、懐かしいバイクへの憧れから、ついに丸亀さんは86年春、39歳で再び中型一輪免許を取得する。

「いや、苦勞しましたよ。教習所でどれくらい落とされたかわからない

くらい。操作そのものは、どうやらいいんだけど、細かい安全確認とか車線の取り方とか、日頃クルマで仕事してますから、その時の悪い癖が出ちゃうんだよね。

しまいには、教官が気の毒がつて何回かタダで乗せてくれた(笑)」

丸亀さんの現在の愛車はZeal XJ400ZSからゼロ1225と乗り継いで、これが3台目だ。

「使い途は完全に遊びだけ。天気の良い日にフラッと出かけちゃうパターンが多いね。目的なんてない。とりあえず走り出してから、今日はこつちへ行こうと決める。自由気ままにね。

地図なんかも持たない。道は仕事で知り尽くしてますから」

しかし、そのZealも間もなく丸亀さんの手を離れる。ひとり息子の

の貴史くん(16歳が、中型免許にチャレンジ中で、取れたらZealを譲る約束なのだ。

「もう免許が取れるオトナだと自覚して乗ってほしいね」

と丸亀さんは貴史くんを念を押すように話しかけた。早くに奥さんを亡くしてからは、父ひとり子ひとりの家族である。事故が一番怖い。

「私もそんなに上手なライダーじゃないとは思ふが、貴史はまださらに未熟だし、慣れてうまくなつたら、今後は飛ばし過ぎたり乱暴な運転になりがち。気をつけて、安全に大事に乗ってくれよな」

貴史くんは、これまで何度か丸亀さんの後ろに乗って走つたり、バイクに乗っている先輩たちとの付き合いの中でバイクの魅力はすでに知っ

ている。だから、「とうさんとボクでは、バイクの見方が違うんだよ」と反発することも多々ある。

趣味が違う、考え方が違う、生活が違う、しかし、バイクは丸亀さん親子の共通のバイク役ともなつていく。

Zealを貴史くんに渡したあと、丸亀さんは400ccクラスから、長く付き合えるバイクに乗り換えようかと考えている。

「そうしたら、息子と2台でトランシーバーでも付けて、北海道へツーリングに行きたいね」と顔を見合せて。

ジヨグのコマーシャルみたいに、親子で、男どうしの大きな話をしよう、なんていう場面が頭に浮かぶ。こんな2人のバイクライフは、今始まったばかりだ。

面倒なこととはみんな街に残して 休日だけは「自分時間」

迷路のような住宅地で 深夜のスクーターツーリング

「ホントに身勝手な乗り物ですよ」
開店前の準備をテキパキとこなしながら、バイクについてこう話し始めた笹原健さん(25歳)。東京・六本木のカラオケパブ「GIRRF」の店長さんだ。

故郷の青森市から単独上京したのは、進学校として有名な某公立高校を卒業したばかりの18歳のとき。クラスメイトがみな揃って大学に進むなか、ただひとり調理士を目指して東京・中野の専門学校に入学した。

「その頃はお金がなくてね、昼は学校、夜は学校の近所の割烹料理屋で仕事をしてたんですよ。仕事先の寮に住まわせてもらいながら、せっかく花の東京に出てきたのに、楽しいことなんかあんまりなかったです」
そんな笹原さんの生活の中で、唯一の楽しみは、店のスクーターに乗って中野の街並みを走りまわることだった。青森にいた頃は「三ない運動」が盛んだったためにバイクには乗れず、自転車だけが唯一の移動手段だ

ったのである。その後、ググッとバイクの魅力に引き込まれる笹原さんだが、その始まりは深夜のスクーター中野ツーリングだったのだ。

都内の交通環境に クルマよりバイクを選択

調理士としてステップアップしていくには、まずいろいろな店を経験することなのだそう。ある店で腕を磨いたらさらに次の店へ移ると待遇も上がる。笹原さんも割烹料理からエスニック料理、フランス料理と次々と経験を積み上げた。本人いわく「あとは中華料理だけかな」というほどである。

寮を出てひとり暮らしを始めた笹原さん、貯金も少したができるだけようになった。そこでこのお金を何に使おうかと考えた時、一番に候補にあげられたのはクルマだったという。「買えるなと思ってたんです。カタ

ログとかも集めてね。ただ、東京は駐車場代が高いと聞いてたので、たれしに不動産屋にいくらくらいで貸られるのかを聞いてみたんです。そしたら何て言われたと思います？
「いまだき駐車場を探す方が間違ってる」だって。こりやダメだなと思いました」

その頃、また店を移って六本木のピアノバーに入った笹原さん。都心の道路事情もあるのだろう、六本木にはバイク通勤族が多かった。これが中型免許取得の直接的な引き金となった。

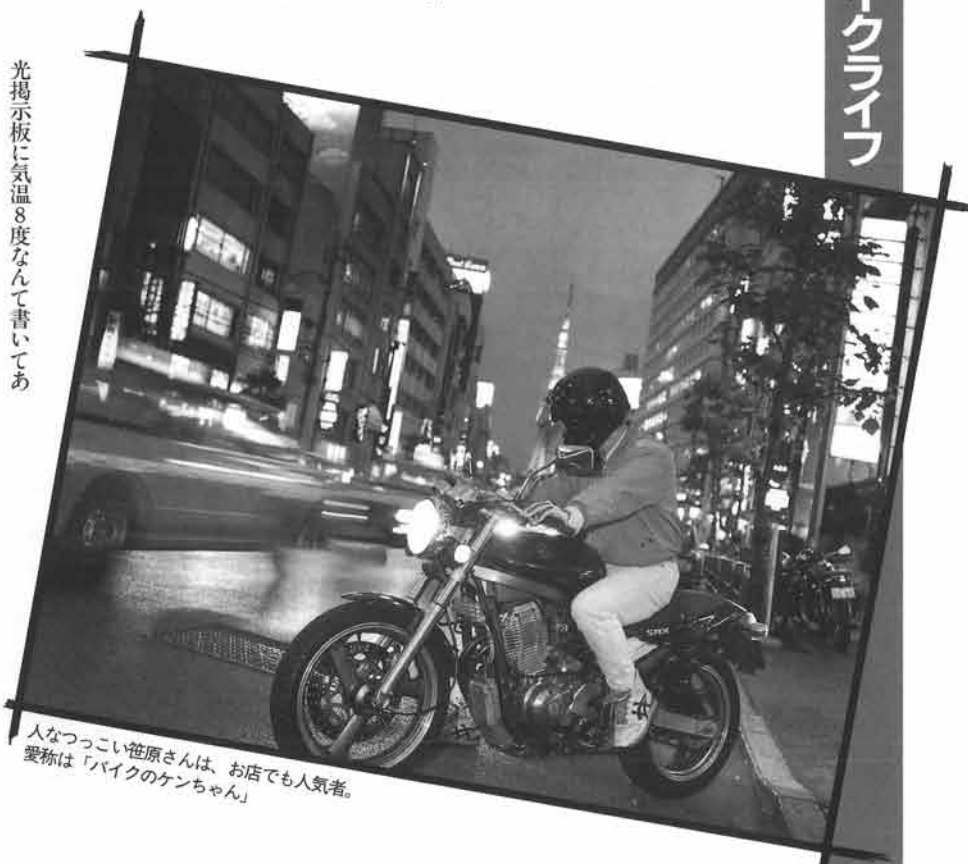
たったひとりになれる時間が バイクとどったら持てる

「バイクに乗るのが面白いな、と思ったのは、初めて青森にバイクで帰った時ですね。往復で約700キロくらいあるんですよ、凄いでしょ。雨は降るし霧も出る、インターの電

光掲示板に気温8度なんて書いてあって、それ見ただけで凍死しそうなくらいなんです。

とにかく辛い、寒い、とてもじゃないけど耐えられない。それにトドメを刺すように、僕と同世代のカップルが四輪の外車で追い抜いて行くんです。正直に言って「チクショー」と思いましたね」

イメージではない現実のツーリングでは、こうした状況に置かれることも少なくない。数多くツーリングに出かけたことのあるライダーなら、「快適な旅」が約束されていないことなど誰もが知っているはずだ。
それでも笹原さんにとっての帰省とは、すなわちツーリングなのだ。



人なつこい笹原さんは、お店でも人気者。愛称は「バイクのケンちゃん」

なぜなのだろう。

「たとえば初夏に帰る時なんか、北に行けば行くほど緑の色が変わってくるんです。秋なんかもっと凄いですよ、紅葉は気温によって色のつき方が違うらしいですからね。」

もしですよ、もしもクルマで帰ってたら、こんなふう感じられたと思います？ 僕を追い抜いて行った外車のふたりだって、あの感動は多分味わえなかつたんじゃないかな」

現在はSRX400とDT200WRを所有して、オンに、オフにとバイクライフを楽しんでいる笹原さん。もちろん自宅からお店までの通勤も、2台の愛車を気分で乗り分けている。お店が片付く朝6時、クルマのいない六本木通りを朝日に包まれて走るとき、最高の贅沢を感じるそうだ。

「ただね、最初に言ったように、バイクってホントに身勝手な乗りものだと思うんです。基本的にはひとりで乗るものだし。クルマみたいに電話を付けることもできないですから。だからバイクに乗って出かけちゃったら、誰も僕をつかまえられないんです。」

だけど、逆に僕はそこにバイクの魅力を感じるんですよ。面倒なことは全部街に置いてきちやうことができる。仕事も追いかけてこないし、実生活も追いかけてこない。いまは独身ですが、結婚したら家族を置いて出かけたくなることもあると思います。そんな時、やっぱり僕はバイクに乗っていたいなと思いますね」



遊・YOUR・誘SHOP

恒例のキャンピングツーリングで 今年はY.E.S.S.イベントをズツキキング

YSP逗子さん

(神奈川県逗子市 / 田村元行店長)

お店のオープン以来、恒例の行事となっているYSP逗子さんのツーリングイベント。継続は力なり、とはまさしくこのこと。回を追うごとに内容を充実して、お客さまを楽しませている。真近にひかえた「91Y.E.S.S.アースリーラン in 信州」を前に、ツーリングに対する田村店長の考え方をうかがった。

ツーリングで感じる喜びは ライダーの共通項

「いつの頃からですかね、ゴールデンウィークや夏休みが近づいてくると、お客さんの方から『今年はどこに行くの?』なんて聞いてくるようになったんです。これも毎年続けてきたおかげなんですよ。」

山のように積み重ねられたアルバムを目の前にして、こう話し始めた田村店長。

YSP逗子さんがオープンして間もなくスタートした恒例ツーリングの写真を見ながら、ひとつひとつ思い出話を聞かせてくれた。

お客さま同士が声をかけ合って出かける月例ツーリングとは別に、田村店長ご自身がリーダーとして指揮を振るうゴールデンウィークの1泊ツーリングと、夏休みのキャンピングツーリング。どちらもお客さまは毎年楽しみにしているため、「手を抜こうと思っても抜けない」イベント

に育っているようだ。

「うちの場合、お客さんの層がすごく幅広いんです。17歳くらいの若い人たちからもうお孫さんもいる50代後半の方もいる。年齢の幅だけではなくて、のんびり走るだけの人やレースに出る人、それにバイクを磨くことに喜びを感じるタイプもいます。」

そんな千差万別のお客さんが、一緒に遊べることといったらやっぱツーリングが一番なんです。同じ道を一緒に走ることで、17歳も50歳も似たような共感が得られますからね。」

家族も楽しめるツーリングで バイクへの理解を促進

今年のゴールデンウィークに行なわれた信州温泉ツーリングに参加したお客さまは、男女合わせて合計20名。YSP逗子さんのツーリングはいつもそうであるように、今年も田村店長の知らないお客さまが2名参加していた。

「お客さんが誘ってきてくれるんですよ。絶対に面白いから来い。って。いま常連さんとして店に来てくれるお客さんの中にも、そうして付き合いの始まった方がたくさんいます。自分たちが同じようなカタチで仲間に入ってきた人たちです。」



お客さまが新しいお客さまを呼んでくる、YSP逗子さんのツーリングは出会いも多い

INFORMATION

バイクと自然を愛する ライダーのための専用ホテル (ツーリング・イン)



オフロードコースに隣接したライダーのための専用ホテル「ツーリング・イン」が、この春からY.E.S.S.スポットとしてご利用いただけるようになりました。

素泊まり3000円(1泊・1名さま)というリーズナブルな料金ながら、洗車場やツーリングウェアの乾燥室など専用ホテルとしての機能を完備。女性のための専用室も用意して、みなさんのご利用をお待ちしております。ぜひショップ主催のツーリングなどにもご利用ください。

〔Y.E.S.S.特典〕

- ① Y.E.S.S.スタッフ専用セーフティボックスの利用
- ② 宿泊記念品のプレゼント
- ③ 予約等の優先



ツーリング・イン CHINO

- 〒391 長野県茅野市茅野2724-1
- TEL. 0266-73-1965
- 客室数:20室 ● 収容人数:230名



ツーリング・イン NUMATA(圓原湖)

- 〒378-03 群馬県利根郡利根村大字圓原字梅木平277
- TEL. 0278-56-3603
- 客室数:7室 ● 収容人数:90名



から、新たに参加する人にもすこく優しいわけなんですよ」
こうした1泊ツーリングがライダー個人を尊重したイベントだとすると、夏休みのキャンプツーリングはまったくその逆。お客さまの家族も呼んでバイクと四輪で50キロ圏内の河原に行き、バーベキューを楽しむイベントだ。
「やはり家族のいるお客さまとの関わりは、家族を切り離すことは考えられない」というのが田村店長の考え方。アウトドアでバーベキューを楽しみながら、バイクのある生活を家族の方にも理解してもらおうという願いが込められている。
8月3・4日開催される「'91 Y.E.S.S. アースリラン in 信州」のバイクフェリエー方式も、この田村店長と同じ発想で生まれたもの。バイクに乗らない方でも、現地でライダーと同じ楽しみが味わえるように配慮されている。
「うちからも約20名のお客さまが参加する予定です。お客さんも楽しみにしていますので、ぜひ成功させたいですね」



キャンプツーリングでは田村店長もハッスル。楽しませることに徹している

We Love Yamaha

好きだからちょっと一言



パーソナリティーにこだわる時代に
こんなツーリングクラブはいかがでしょう

現代はパーソナリティー尊重の時代なんだ。人格や個性を大事にしたい。だから皆んなで集まって何かをしようなんてハヤらない。一人の方が楽しいんだ。

この春、バイクを購入したいから相談に乗ってほしい、とやって来た大学生がそう言った。しかし、その青年は、まるっきり一人ぼっちでは寂しい。まっ、3人ぐらいの仲間がいればベストかな——となんとともつかみずらいのだ。今の若者は。

このウナギのような若者たちが、販売店さんにとってはお客さまである。「うちにはツーリングクラブもありますから、仲間と一緒に楽しみましょう」という言葉に、目を光らせるお客さまが極端に少なくなり、クラブの活動は開店休業状態の販売店さんもあるという。

時代をヨム。これは情報収集と分析で可能だ。でも人をヨムのは難しい。お店のクラブ作りや運営も大きな曲がり角を迎えているようだ。

ツーリングクラブといえば、こんなクラブがある。「FJオーナーズクラブ」だ。ああ、あれか、とご存じだと思うが、ちょっとご紹介しよう。

「FJオーナーズクラブ」は、二輪雑誌の読者であるユーザーと開発者が集い談笑するシリーズ企画がきっかけで生まれた。昨年末のその企画は、FJ1100/1200のユーザー数名と、ヤマハからはプロジェクトリーダーと実験担当者が集まった。

FJ談議に花が咲いた。が、ユーザークラブがないことに気づき、「これを機にぜひ」とオーナーズクラブが旗上げた。同時に、ユーザーとヤマハの関係がはじまった。ヤマハのプロジェクトリーダーが、名誉会員に迎えられ、ヤマハ本社、工場見学をかねたツーリングが行なわれた。その夜は歓迎パーティ。そして、忘年会は、クラブの連絡事務所に移して東京で。もちろんヤマハのメンバーも浜松から駆けつけた。

そして今年の4月、クラブは四国へ1泊2日のツーリング。ヤマハのメンバーは、さっそうとニューモデル'91 FJにうち跨がって参加した。東京グループとの待ち合わせ地点は浜名湖サーブエリア。クラブ員は、'91モデル出現にざわめく。質問攻めはヤマハマンにはうれしい非鳴。

四国の夜。パーティで、ヤマハの

メンバーから、クラブのロゴ入りTシャツが贈られた。クラブ員の感激はひとしおだった。そのTシャツは、実験担当者が、1週間かけて作ったものだった。

「参加してくれただけでもうれしかったのに、こんなプレゼントまで…」とクラブ員。

「お客さんならではの意見を随分聞かされた。耳の痛い話もあったが、こんな楽しいクラブが生まれるなんて思ってもみなかった。開発者冥利につきる」とプロジェクトリーダー。

人をヨムのは難かしく、クラブ作りや運営が曲り角にきている、と前述したけれど、紹介した「FJオーナーズクラブ」は、いくつかのヒントを投げかけてくれている、と思う。

「ディバージョンオーナーズクラブ」なんていうのも楽しそうだ。

●
「We Love YAMAHA——好きだからちょっと一言」コラム欄への投稿をお待ちしています。ちょっと気になったいい話、ちょっと聞いてほしいこんな話、お客さまへも一声かけて投稿をおすすめください。

安全運転に関するみなさんの意見を聞かせてください。

第4回Y.E.S.S.二輪車 セーフティスローガン とマンガ募集!

募集期間
1991年5月1日
から
7月31日
まで

主催●全国Y.E.S.S.ショップ会/住友海上火災保険株
後援●ヤマハ発動機株/ヤマハ安全運転推進本部/全国ヤマハ会



Y.E.S.S.では、ライダーの安全運転意識の自己啓発、相互啓発を目的に、今年もセーフティライディングに関するアイデアを、広く一般から募集しています。
'88年からスタートした「Y.E.S.S.二輪車セーフティスローガン募集」は、ライダーはもちろん、ドライバーや歩行者など、道路を使うすべての人に二輪車の安全について考えてもらうキャンペーン。回を重ねるごとに応募数も増え、すっかり初夏の恒例行事として定着したようです。第4回を迎えた今回は、新たにマンガ部門も設定。新しい表現でセーフティライディングを訴えかけることができるようになりました。今年も一層セーフティライディングの輪が広がるように、みなさんのご協力をお願いします。

応募要領

■募集期間：1991年5月1日～7月31日

■応募資格：だれでも応募できます。

■賞典：セーフティスローガンの部

- グランプリ 1作品 30万円
- 準グランプリ 2作品 10万円
- 優秀賞 5作品 3万円

セーフティマンガの部

- グランプリ 1作品 30万円
- 準グランプリ 2作品 10万円
- 優秀賞 5作品 3万円

■応募先：〒438 静岡県磐田市新貝2500

ヤマハ発動機株内 Y.E.S.S.本部事務局
「セーフティスローガン&マンガ」係

■審査：1991年9月上旬（予定）

■審査員：5名

■発表：1991年9月下旬（予定）

入選者に直接連絡するほか、二輪専門誌、WAY、ヤマハニュース、Y.E.S.S.ショップ店頭のパスター等で発表します。
※入賞作品の著作権はY.E.S.S.に帰属します。

■応募方法：セーフティスローガンまたはマンガを官製ハガキを用いて、次の要領で応募先まで郵送してください。

●セーフティスローガン（1作品ハガキ1枚）

〈ハガキ裏面〉①応募作品50文字以内で、ハガキ裏面に記入してください。（黒でハッキリと）

〈ハガキ表面〉②郵便番号、住所
③氏名、年齢、性別、職業、電話番号
④キャンペーンを知った場所、広告名

●セーフティマンガ（1作品ハガキ1枚）

〈ハガキ裏面〉①応募作品マンガは1作品1コマ〜4コマまで、ハガキを縦に使用して描いてください。

マンガのタイトルは上に、応募者の氏名、住所（市町名まで）は下に記入。マンガ、文字は黒インク1色で描いてください。

〈ハガキ表面〉②郵便番号、住所
③氏名、年齢、性別、職業、電話番号
④キャンペーンを知った場所、広告名

ウインドツアラー

ディバージョン

メーカー希望小売価格：¥499,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

カラーリング：ベリーダークブルーメタリック3、アップルレッド、ブラック2

7月1日新発売

Diversion

モーターサイクルの正常進化のひとつの形として、ヤマハが自信を持って提案するニューモデル…それがDiversion(ディバージョン)です。

この商品の企画・開発にあたっては、モーターサイクルが持つ基本的魅力を多角的に検討。その結果生み出された“風、旅、美”の3つのキーワードをもとに、エンジンから車体の作り込み、デザインに至るまでヤマハの最新技術を投入。風のパワーを積極的に活用(エアマネジメント)した新空冷システムの前傾エンジン、常用域での快適な乗車性を生む出力特性、低中速での心地良い風と高速でのプロテクション効果を調和させたエアロカウルなどが主な特徴となっています。

Diversionの意味は、“進路を変える”とか“気分転換”など。'90年代のモーターサイクルの新しい形として、どうぞ積極的にお客さまへご案内ください。



ベリーダークブルーメタリック3



メインスタンド ¥5,900
(部品番号4BP-W0794-00) ※8月発売予定



リヤキャリア ¥7,800
(部品番号90793-51027)



エンジンガード ¥8,500
(部品番号90793-56003)



タンクバッグ ¥14,800
(部品番号90793-61034) ※限定販売



ツインバッグ ¥19,800
(部品番号90793-6135) ※限定販売



ツーリングポスト ¥9,800
(部品番号90793-61036) ※限定販売

※価格はすべてメーカー希望小売価格です。消費税は含まれません。

■Diverion仕様諸元

●全長2095mm●全幅750mm●全高1175mm●シート高770mm●軸間距離1455mm●最低地上高150mm●乾燥重量175kg●舗装平坦路燃費45km/ℓ(60km/h)●最小回転半径2.6m●制動停止距離14m(50km/h)●エンジン4サイクル・空冷・DOHC・2バルブ・並列4気筒・398cc●内径×行程47.7mm×55.7mm●圧縮比10.5:1●最高出力42ps/10,000rpm●最大トルク3.5kg-m/7,000rpm●始動方式セル式●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ●オイル容量2.9ℓ●エレメント種類不織布●燃料タンク容量17ℓ●キャブレター型式BDST26×4●点火方式フルトランジスタ●点火プラグ型式CR8E、CR9E、V24ESR-N、U27ESR-N●バッテリー容量12V8Ah●1次減速機構(比)ギヤ(2.606)●2次減速機構(比)チェーン(3.066)●クラッチ湿式多板●変速機 常時噛合式前進6段左足動リターン式●フレーム形式鋼管ダブルクレードル●キャスト25°00'●トレール97mm●タイヤサイズ(前)110/80-17・57H(後)130/70-18・63H●制動装置油圧式シングルディスク(前後とも)●ディスク有効径(前)290mm(後)214mm●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)ガス、オイルダンパー、コイルスプリング●ホイールトラベル(前)140mm(後)110mm●ヘッドランプ12V60W/55W×1バルブ着脱式(ハロゲン)●テールランプ12V5W×1●ストップランプ12V21W×1●フラッシャーランプ12V21W×4●メーター速度計、回転計



アップルレッド



ブラック2

備えあれば憂いなし ヤマハレインウェアで梅雨を快適に

雨の日のライディングを快適に行なうことは、安全上も大切な要素。
この時期を機に、ぜひお客さまにヤマハのレインウェアをおすすめください。



●レインスーツ RY-721 ¥9,800

〔素 材〕表地：ナイロンタフタ、RIP・STOP(ナイロン100%)PVC加工0.18mm 裏地：ポリエステル100%(ポリエステルメッシュ)

〔サイズ〕M、L、LL

〔カラー〕グリーン、イエロー、ブルー、ブラック

モーターサイクルを知りつくしたヤマハが、ライダーのあらゆるシチュエーションを想定して開発したレインスーツです。充分な機能とコストパフォーマンスを、お客さまにご案内ください。



レインブルーフポケット

Aグリーン M/ No.90792-7549M L/ No.90792-7549L LL/No.90792-7549X
Eイエロー M/ No.90792-7550M L/ No.90792-7550L LL/No.90792-7550X
Cブラック M/ No.90792-7551M L/ No.90792-7551L LL/No.90792-7551X
Bブルー M/ No.90792-7552M L/ No.90792-7552L LL/No.90792-7552X



キャリングバック



袖口アジャスト



脱着式ビット用フード



上着裏地メッシュ



オフロードブーツも使用可能なアジャスト式の裾

●レインブーツカバー

AY-185 ¥5,400

〔素 材〕ナイロンPVC/ネオプレン

〔サイズ〕M、L

〔カラー〕フラッシュイエロー、ブラック、レッド、ブルー

スリップ防止のためのオリジナルオーバーソール付きブーツカバー。ふくらはぎ、足首アジャストベルト、オーバーソール、防水用大型ファスナーカバーなど、役立つ機能が満載です。



Aフラッシュイエロー M(23.0~25.0)/No.90791-8381M L(25.5~27.5)/No.90791-8381L
Bブラック M(23.0~25.0)/No.90791-8350M L(25.5~27.5)/No.90791-8350L
Cレッド M(23.0~25.0)/No.90791-8351M L(25.5~27.5)/No.90791-8351L
Dブルー M(23.0~25.0)/No.90791-8352M L(25.5~27.5)/No.90791-8352L

※価格はすべてメーカー希望小売価格です。価格には消費税は含まれません。

from SAFETY

安全の話題

安全運転技術を学ぶイベントあれこれ
積極的な参加が着実な効果を生んだ

先日、昨年1年間の交通事故発生状況が確定数として警察庁より発表されました。

それによると、月別の二輪、四輪を含めた事故発生率、負傷者数はともに12ヵ月中10ヵ月で減少していますが、死者数をみると逆に12ヵ月中8ヵ月で増しているのです。このことは、取りもなおさず死亡につながるほどの大事故の割合が多い、除々に事故の規模が拡大しているということを示しています。

二輪車の場合は、昨年、一昨年と死亡事故数が減少傾向にあるとはいえ、体が常に露出しているので、少々な事故でも大きなケガをする可能性が高く、特に注意が必要です。

事故を起こさないためには、言うまでもなく乱暴な運転をしないこと、そしてしっかりしたテクニックを身につけておくことが必要不可欠。そこで、さまざまな形のライディング教室や講習会、イベントが盛んに行なわれています。



しかも、できるだけ多くのライダーに参加してもらおうと、イベント内容に競技やゲーム的な要素を加えたりして、楽しみながらテクニックを修得できるものが多くなりました。

例えば、毎年恒例となった「二輪車安全運転大会」は競技的要素を持ったイベントの典型です。今年も8月3日、4日の全国大会(三重県・鈴鹿サーキット)をめざして、まもなく各地で地方大会が開かれますが、参加者は除々に伸び続け、今年は合計4000人の参加が見込まれています。

また、埼玉県では県警などの主催で「埼玉セーフティライディングフェスティバル」という50ccバイクの耐久レースを5月12日に開催しました。全国でも珍しい警察署主催のレースで、制服の警官も一般のライダーと一緒に参加するのが特徴です。

'89年に初めて行なわれましたが、

大変好評だったため、以後毎年、春の全国交通安全運動期間中に開かれるようになりました。

そのほか、ヤマハの各種YRSも以前から「楽しんで学ぶ。イベントとしていろいろな工夫を加えているスクールのひとつ。

昨今、二輪車事故が減っているのは、こうした場を利用する人が着実に増えてきたからだと言えます。

しかし、まだまだ十分浸透しているわけではなく、これからもっと多くのライダーがじっくりテクニックやマナーを体得できるようチャンスを広げ、積極的な参加を呼びかけていくことが大切でしょう。

「ノドもと過ぎれば熱さを忘れる」なんていうには早すぎると思います。が、せっかく効果が出始めた安全運転活動、さらに大きく盛り上げたいものです。



優しい走りに出会ったら 思わず微笑み返します

第三回二輪車セーフティスローガン・一般女性部門最優秀賞作品

B'Harmony

人とバイクの友好生活

静かにやさしく、いい運転。

●やめよう、マフラーの不正改造/
●いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!

SERVISE

ダブルスター27店が新たに誕生！
ますます広がるスター店

ヤマハ車のことを知り尽くしたプロフェッショナルショップとして、その優れたサービス力を証明するのが「ヤマハ・テクニカルサービス・スター店（YTS）」制度です。
お客さまにもっとそのことを知っていただければ、お店との信頼関係はさらに深まることでしょう。

みなさまの店頭でも積極的に「スター店」であることをアピールし、ぜひ多くの固定客獲得にお役立てください。このたび、そうしたスター店が新たに認定されましたが、今回は前号「シングル」に引き続き「ダブルスター」の新規認定店27店をご紹介します。おめでとうございませう。

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程(6月~7月)

会場	6月	7月
北海道 北ヤマ		
東北 ヤマ		
研修センター 東京	2M B 4M 2M 3-5 10-12 18-20 24-26	4M B B 8-10 18-20 24-26
研修センター (ヤマハ中部)	D 全国 12-15	2M 3-5
研修センター 神戸	4M 2M B 5-7 19-21 25-27	B 2M 3-5 17-19
ヤマハ 中部	B 山口 B 松江 18-20 25-27	B 福山 B 広島 2-4 3-5
ヤマハ 中部		
研修センター 福岡	B 11-13	2M 10-12

B：ベアシック 2M：2サイクルマスター
4M：4サイクルマスター D：ドクター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。

Y. E. S. S.
イベント会場や店頭での盛り上げは
『YESSTツール』の見直しから！

バイクシーズンのピークを控え、来店客の対応に、各種イベントの開催にと、今やお店は大忙しというところでしょう。

しかし、そうしたお客さまの出入りが激しい時だからこそ、特に気を配っておきたいのは店頭やイベント会場を飾る看板やバナーといったネーム入り

ツール。店名の看板はもちろん、ヤマハやYESSSのロゴマークなど、お客さまのアイキャッチが目的ですから、常にメンテナンスを欠かしたくないものです。

特に、ツーリングやレースイベントなど、バイクを使ったスポーツ、レジャーが活発化するこの季節は、YES



Sのイメージを強くアピールするのに最適。ぜひお店に備えている『YESSTツール』をもう一度よく見直し、積

極的なご活用をお願いいたします。補充・追加に際して、ここに一部ご紹介しておりますが、詳しくは各ヤマ

ハ販売会社の担当セールスマンまでご相談ください。

■YESSS ツール一例

- YESSS. バナー(660×3700mm)
NO. 220021/ @2500円
- YESSS. メッシュ横幕(1200×5400mm)
NO. 490002/ @9500円
- YESSS. 腕章
NO. 220028/ @150円(ロット10枚)
- YESSS. A看板(壁面用)
NO. 220034/ @3000円
- YESSS. B看板(店頭突き出し型)
NO. 220035/ @1000円
- YESSS. テント(2.7×3.6m・3方幕付き)
NO. 3661/ @78000円
- YESSS. テント正面幕
NO. 3662/ @5200円



ス ヴ ェ ー モータースポーツへの夢を広げる 『カートフェスティバル'91』開催

「若者たちの大いなる夢を積極的に支援しよう」という『夢の応援団』が、今年4月に発足し、その具体的な活動の第一歩としてモータースポーツを取り上げられました。

これは、F1ドライバー鈴木亜久里選手の協力のもと、世界に誇れる人材を育成しよう、才能のある若者に活躍

の場を提供しようとするものです。

そのために、底辺拡大をはかる意味でまず『レーシングカート』から着手し、普及させようと『レーシングカートフェスティバル'91』が開催されることになりました。

ヤマハは、この活動にレーシングカートのトップメーカーとしてさまざま

な面で協力、バックアップしていきます。

フェスティバルは、7月27日・28日の東京会場を皮切りに、全国6会場で10月まで行なわれ、カート体験試乗会のほか各種のアトラクションが用意されていますので、ぜひみなさまもお客さまと一緒に出かけください。

■カートフェスティバル'91

日程：8月10・11日 サッポロスポーツランド
8月24・25日 SUGO国際カート
7月27・28日：8月の毎週土曜日
コース

大井競馬場(第一駐車場)

8月31日・9月1日 つま恋カートコース
9月14・15日 堺カートランド
9月21・22日 たからカートランド
10月5・6日 福岡カートランド
10月26・27日 横浜市臨海部再開発地区コスモワールド建設予定地

※日程は変更になる場合もあります。

料金 大人2,000円・中学生1,000円
小学生500円
(SUGO、つま恋のみ別料金)



S U G O もうすぐ夏ノ遊びのプランは SUGOのバックツアーをキープ!

日増しに野山の緑が色濃くなってきました。梅雨の季節を過ぎれば、いよいよ待望の夏に突入します。

お客さまばかりでなく、お店の人も休日のプランをいろいろ練りはじめていることでしょう。

そうした中で、ぜひおすすめてほしいのがスポーツランドSUGOの夏休みバック。モータースポーツ観戦ツアー

はもちろん、ご家族ぐるみで楽しんでいただけるキャンプや、ジュニア対象のテニススクールなど、さまざまな趣向を凝らしたプランがいっぱいあります。

どうぞお好きなコースをお選びいただき、早めにキープしてください。

■スーパーバイク世界選手権観戦ツアー
日程／8月24日(出)～8月25日(日)
費用／20,000円(1名・東京発)

テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州／毎週土曜日18時30分から18時45分、静岡放送／毎週日曜日10時45分から11時、東日本放送／毎週土曜日23時30分から23時45分、テレビ新広島／毎週木曜日24時35分から24時50分。

■91ロードレース世界選手権
世界のバイクファンを熱くさせずにはおかない『ワールドグランプリ』の興奮を、千年屋俊幸アナウンサー、元GPライダー福田照男さんの解説でお届けします。

W・レイニー、J・コシンスキーなどヤマハチームの活躍をじっくりお楽しみください。

■夜行日帰り
申込／ケイエスインターナショナル
☎03(3275)1723
日程／7月28日(出)～29日(日)
費用／25,900円(1名・東京発
夜行日帰り)

■3000観戦ツアー
申込／ジャパンネットワークアーツ
☎03(3804)1120
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

■子供会・遠足バック
費用／おとな・15000円
中学生・14000円
こども・9000円

※15名以上。入園料、冒険ジャルダンおよびプール利用料を含む。
■サマーバック(キャンプ+ホテル)
日程／7月20日(出)～8月20日(火)
2泊3日
費用／おとな・22000円
こども・15000円

そのほか『F100カートレーシングスクール』『ジュニアテニススクール』などもあります。
詳しくはSUGO東京(☎03(3575)4771、仙台(☎0224(83)4711)まで。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界
世界各国で精力的に活動を行っている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。

テレビ朝日系全国15局ネット・放送日／毎週日曜日。放映時間／7時30分から8時。

A D 6月のヤマハ提供番組

■ON AND OFF
海と陸、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かすを、紹介する番組です。

巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナードたつぷりにお届けします。

▼6月1日(マリン編)
『勉強親子』

▼6月8日(バイク編)
『横浜DAY DREAMS』

▼6月15日(マリン編)
『市川庸一のマリンライフ』

▼6月22日(バイク編)
『オーストラリア③』

▼6月29日(マリン編)
『艇体清掃サービスの女社長』

都合により内容などが変更される場合があります。
※一部地域では放送日が異なります。テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、

都合により内容などが変更される場合があります。
※一部地域では放送日が異なります。テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、

YOU SHOPの店主さんが 東京⇄芦ノ湖間を ニューJOGGZでツーリング!!

4月1日の発売以来、ヤング層を中心に高い人気を誇るニューJOGGZ。店頭でもひとさわ注目度の高いこのモデルを使って、4月16・17日の2日間にわたり、YOU SHOP会東東京支部のみなさんによる箱根ツーリングが行なわれました。

当日は集まった15名の店主さんを祝福するように、まさにツーリング日和の晴天。早朝ヤマハ東京㈱・東東京管



スクーターにしてはかなりの長距離走行で、改めてJOGGZの良さを実感



スクーターばかり15台を連ねた一行は、沿道の注目の的?

業所を出発した15台は、ゴルフパチヨフ大統領の来日による都内の交通規制をくぐり抜け、夕方4時頃には目的地に到着しました。

ツーリング終了後のミーティングでも、話題はニューJOGGZの話に終始。難所として名高い箱根の坂道もパワフルにグングン登ると、セールストークの集取にも余念がなかったようです。

もう「女だから」って言わせない! 『LBライディングテクニックスクール』

(社)日本自動車工業会の調へによると、最近また女性ライダーが増えてきたそうです。大いに歓迎すべき傾向ではあるのですが、やはり「女性は運転があまりうまくないから」と特別扱いされるケースもままあるようです。

そこで、女性ライダー向けのバイク専門誌『レディスバイク』では、現在各メーカーとタイアップして『LBライディングテクニックスクール』を開催して、女性ライダーのテクニックスアップに気を配っていますが、3月10日と4月14日、5月12日にはそれぞれ名古屋、金沢、大阪でヤマハの協力によるスクールが開催されました。



シャケさん、こと河崎裕之さんのポイントを正確に指適するアドバイスは大好評

これには、講師として元ヤマハワークスライダー河崎裕之さんとヤマハテクニカルセンターのインストラクター2名が参加。生徒を約20名ずつの少数

特典一新で再スタート『YSPレディ』 記念の『琵琶湖クルーズ』を開催!

関西地区は、いろいろなしかげでお客さまを喜ばせる工夫を絶えず行なうて、全国でもよく知られた土地柄です。なかでも、5年前に結成した『YSPレディ』は、女性ならではの楽しみ方を見つけようと、各YSPの女性ライダーだけで構成されたユニークなクラブです。

年間1~2回のクラブイベント開催をはじめ、各種情報提供や会員割引など特典が人気を集め、現在会員数は200名を超えるほどになりました。しかし、このころ女性ライダーが再び増え始めたことや、時代のニーズも変わりつつあるため、より多くの方にもっともっと楽しめるクラブにして行きたいと、内容の見直しはがはから

に絞って、みっちり実技と座学講習を行ないました。ひとりひとりによく目が行き届く集中講座のため、参加者はさすがにみるみる上達。「自信がきました」と笑顔を見せていました。



このスクールの内容は、レディスバイク誌5-7月号に掲載

ました。

例えば、250cc以上のスポーツ車のお客さまに限っていた入会資格を、スクーターまで広げたこと。さらに、各YSP単位のイベントでも参加費割引を行なうなど、特典も実際に即した形で充実化しています。

こうして、新生『YSPレディ』は今年4月に再スタート。4月14日には、その記念イベントとして、琵琶湖に就航するアーリーアメリカン風の外輪船『ミシガン』で、『YSPレディ琵琶湖クルーズinミシガン』を盛大に開催しました。

うらかな晴天のお花見日和となった当日、60名の参加者は豪華な船上パーティとクルージングを楽しみ、その後、ボウリング大会やツーリングなど思い思いに春を満喫。大きな発展をめざす門出にふさわしい一日となったようです。

地球縦断10200kmのヨットレース 『ヤマハ大阪カップ1999』終了！

ボートやヨットのトップメーカーとしても知られるヤマハ発動機がタイトルスポンサーとなって支援している『ヤマハ大阪カップ』メルボルン/大阪タ



秋のオーストラリアから夏の赤道、そして春の日本へ、選手は3つの季節を経験する

ブルランドヨットレース「99」が、3月23日からおよそ1ヶ月間にわたって開催されました。

この大会は、乗員2名のヨットでオーストラリアから日本まで10200kmを縦断する国際外洋レースで、'87年の第1回に続き、今年はその2回目です。世界10カ国から41艇の参加を集めました。なかでもヤマハが開発、建造にあたった「ラッキー&ラッピー」は期待どおりの快走。スタートから中盤までトップ争いを演じ、ファーストホームこそ逃したものの、前大会記録を上回るタイムで2着に入りました。

なお、ファーストホームは前回の優勝艇「地球倶楽部波切大王」が飾っています。

鉄人を超えた「超人」加藤文博さん 6種競技チャレンジに成功！

体力の限界に挑むスポーツとして知られるトライアスロンの、さらに上を行く「ヘクサスロン」に、ヤマハの元全日本トライアルチャンピオン加藤文博さんが挑戦、見事成功を収めました。

ヘクサスロンとは、マラソン、水泳、自転車の3種競技であるトライアスロンにバラグライダーとカヌー、トライアルバイクを加えた6種競技であるところからつけられた名前です。

加藤さんはそのチャレンジの舞台をニュージーランドの大自然に求め、1月24日、スキップバズロードをバイクでスタート。途中、バラグライダーで1000m級の山を2つも越える難所



「この成功はサポートしてくれた友人たちのもの」

や、カヌーの転覆といったトラブルなどもありましたが、4日間で157kmの全行程をやり遂げ、その超人的な体力と精神力を証明してみせました。

■'91 Y.E.S.S. イベントスケジュール(6~7月)

地区	日程	イベント	会場	連絡先
北海道	6月2日	Y.E.S.S. No.1 CUP 札幌第2戦	サッポロスポーツランド	Y.E.S.S.札幌事務局 ☎011(64)2711
	6月9日	全道一斉オフロードDAY	各地域	各地域のY.E.S.S.事務局
	6月16日	Y.E.S.S. No.1 CUP 釧路第2戦	底路カートコース	Y.E.S.S.釧路事務局 ☎0154(23)3345
	6月23日	Y.E.S.S. No.1 CUP HSP 第1戦	北海道スピードパーク	Y.E.S.S.北海道本部事務局 ☎011(612)1060
		YSP バイクビレッジ	北海道のYSP各店	
	7月14日	Y.E.S.S. No.1 CUP HSP 第2戦	北海道スピードパーク	Y.E.S.S.北海道本部事務局 ☎011(612)1060
		YOU SHOP バイクビレッジ	北海道内のYOU SHOP各店	
	7月27-28日	Y.E.S.S. サマーフェスティバル	岩内	Y.E.S.S.北海道本部事務局 ☎011(612)1060
	6月9日	Y.E.S.S. No.1 CUP びつ耐久レース選手権大会第2戦	むつみサーキット	いかりエススポーツクラブ ☎0246(24)2503
	6月16日	'91 Y.E.S.S. No.1 CUP シリーズ青森大会第2戦	みちのくスポーツランド	Y.E.S.S.青森事務局 ☎0177(39)8081
東北	6月23日	Y.E.S.S. エンデュロ福島大会第2戦	エビスサーキット(予定)	福島県内のY.E.S.S.ショップ
	6月23日	Y.E.S.S. バイクビレッジ in サクラボ付	山形県内	秋田県内のY.E.S.S.ショップ
	7月7日	'91 Y.E.S.S. No.1 CUP シリーズ青森大会第3戦	みちのくスポーツランド	Y.E.S.S.青森事務局 ☎0177(39)8081
	7月20-21日	'91 Y.E.S.S. サマーフェスティバル	奥松島	Y.E.S.S.仙台事務局 ☎022(236)9325
	7月27-28日	'91 Y.E.S.S. バイクビレッジ in 青森	相馬村ロマンピア(予定)	Y.E.S.S.青森事務局 ☎0177(39)8081
	7月28日	Y.E.S.S. No.1 CUP 秋田第2戦80分耐久	新協和カートランド	Y.E.S.S.秋田事務局 ☎0188(64)1781
	7月21日	'91 Y.E.S.S. 赤い走り4Hエンデュロ第2戦	弘前市大森特設会場	YOU SHOP 福田 ☎0172(34)3313
		Y.E.S.S. No.1 CUP 茂原選手権シリーズ	茂原モータースポーツランド	Y.E.S.S.千葉事務局 ☎0472(65)6411
	6月2日	Y.E.S.S. No.1 CUP 長野選手権シリーズ	ラリーキッズ伊那	Y.E.S.S.松本事務局 ☎0263(26)8640
		Y.E.S.S. 千葉エンデュロレース	茂原モータースポーツランド	Y.E.S.S.千葉事務局 ☎0472(65)6411
関東	6月9日	Y.E.S.S. No.1 CUP セパチニク筑波シリーズ	筑波サーキット	Y.E.S.S.埼玉事務局 ☎0486(66)7011
		Y.E.S.S. 神奈川エンデュロレース	富士スピードウェイ	Y.E.S.S.神奈川事務局 ☎0466(24)6202
	6月16日	Y.E.S.S. 群馬マラソンエンデュロレース	尾瀬オフロードコース	Y.E.S.S.群馬事務局 ☎0272(21)4375
	6月23日	ヤマハライディングセミナー加藤栄重特別会	浦和自動車教習所	Y.E.S.S.東京本部事務局 ☎03(3443)9312
	6月29日	SDRカップレース/サウンドオブシンガルス	筑波サーキット	オオタモータープロダクト ☎03(3934)6666
	7月14日	Y.E.S.S. No.1 CUP セパチニク筑波シリーズ	筑波サーキット	セパチニクバイク事務局 ☎03(361)79748
	7月21日	Y.E.S.S. サマーフェスティバル	筑波サーキット	Y.E.S.S.東京本部事務局 ☎03(3443)7912
	7月28日	Y.E.S.S. 長野エンデュロレース	SLランド長野	YSP 長野南 ☎0262(93)5616 YS 清水 ☎0268(22)6340
	6月1-2日	Y.E.S.S. オフロード天国 in 日和田	日和田高原	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
		バイクビレッジ in 清里	清里泉郷	Y.E.S.S.静岡事務局 ☎054(283)7661
中部	6月2日	バイクビレッジ in 高山	高山	Y.E.S.S.北陸事務局 ☎0762(48)6565
	6月8-9日	バイクビレッジ in 浜名湖	ヤマハリマナ浜名湖	Y.E.S.S.名古屋事務局 ☎052(915)5661
		Y.E.S.S. No.1 CUP ミニバイク東海シリーズ	作手カートランド	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
	6月9日	Y.E.S.S. No.1 CUP つま恋第3戦	つま恋カートコース	Y.E.S.S.浜松事務局 ☎053(441)5611
		Y.E.S.S. オフロードスクール	浜岡オフロードコース	Y.E.S.S.静岡事務局 ☎054(283)7661
	6月16日	トライカーナ	豊田スピードランド	Y.E.S.S.岐阜事務局 ☎0582(47)1521
		Y.E.S.S. No.1 CUP ミニバイクレース	豊田スピードランド	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131
	7月7日	Y.E.S.S. No.1 CUP ミニバイク東海シリーズ	作手カートランド	Y.E.S.S.岡崎事務局 ☎0564(21)7131

中部	7月7日	エンデュロレース第3戦	天竜川特設コース	Y.E.S.S.浜松事務局 ☎053(44)15661
	7月14日	Y.E.S.S. エンデュロレース第2戦	富士見ランド	Y.E.S.S.沼津事務局 ☎0559(31)4553
	6月9日	Y.E.S.S. オフロードエンデュロ大会第4戦	ブラザ飯下	Y.E.S.S.堺事務局 ☎0722(3)0235
		'91 Y.E.S.S. No.1 CUP 第2戦神戸	水口自動車教習所	Y.E.S.S.滋賀事務局 ☎07755(3)0235
	6月16日	'91 Y.E.S.S. No.1 CUP 第2戦滋賀	姫路セントラルパーク	Y.E.S.S.姫路事務局 ☎0792(66)1212
		'91 Y.E.S.S. No.1 CUP 第3戦大阪・京都・奈良	名阪スポーツランド	Y.E.S.S.東事務局 ☎06(732)0681
	6月23日	Y.E.S.S. オフロードエンデュロ大会第5戦	湘南オフロードエリア	Y.E.S.S.京都事務局 ☎075(312)0714
		マリジェット体感ウェーブ	琵琶湖カレッジユウフル	Y.E.S.S.関西本部事務局 ☎06(535)1661
	7月7日	Y.E.S.S. オフロードエンデュロ大会第6戦	モトクロスパーク神戸	Y.E.S.S.神戸事務局 ☎078(882)5900
		ヤマハDTリアルエンデュロ大会第3戦	モータースポーツランド下市	Y.E.S.S.関西本部事務局 ☎06(535)1661
関西	7月14日	マリジェット体感ウェーブ	琵琶湖カレッジユウフル	Y.E.S.S.関西本部事務局 ☎06(535)1661
	6月2日	Y.E.S.S. エンデュロ第2戦	グリーンパーク後楽園	Y.E.S.S.福山事務局 ☎0849(22)5445 Y.E.S.S.岡山事務局 ☎0862(25)2191
	6月9日	Y.E.S.S. エンデュロ第3戦	オートランド三次	Y.E.S.S.広島事務局 ☎082(842)7771
	6月16日	Y.E.S.S. エンデュロ第3戦	周東スポーツランド	Y.E.S.S.山口事務局 ☎08397(2)4351
	6月30日	Y.E.S.S. No.1 CUP 第2戦	備後ハイランドパーク	Y.E.S.S.福山事務局 ☎0849(22)5445 Y.E.S.S.岡山事務局 ☎0862(25)2191
	7月7日	Y.E.S.S. エンデュロ第4戦	オートランド三次	Y.E.S.S.広島事務局 ☎082(842)7771
		Y.E.S.S. エンデュロレース四国大会第5戦	池の内スーパースタジアム	高木兄弟商会 ☎08752(5)4147
	6月9日	Y.E.S.S. No.1 CUP 四国大会第5戦	高知競馬場特設コース	Y.E.S.S.高知事務局 ☎0888(33)8500
	6月16日	原付ツーリング	神山森林公園	Y.E.S.S.徳島事務局 ☎0886(63)2181
	7月7日	Y.E.S.S. No.1 CUP 四国大会第6戦	松山オートランド	Y.E.S.S.松山事務局 ☎0899(72)0704
四国		バイクビレッジ&マリジェットツーリング	未定	Y.E.S.S.高松事務局 ☎0878(67)6313
	7月14日	Y.E.S.S. エンデュロレース四国大会第6戦	MXパーク土佐	Y.E.S.S.高知事務局 ☎0888(33)8500
	6月2日	Y.E.S.S. ミニバイクエンデュロ第2戦	城山モータースポーツ場	Y.E.S.S.佐賀事務局 ☎0952(32)0811
	6月8-9日	Y.E.S.S. バイクビレッジ(オフ)	宮崎県・椎葉林道	Y.E.S.S.大分事務局 ☎0975(68)5122
	6月9日	Y.E.S.S. No.1 CUP レース	マルクランドカートコース	Y.E.S.S.北九州事務局 ☎093(571)4031
		Y.E.S.S. No.1 CUP 第3戦	三井オートスポーツランド	Y.E.S.S.久留米事務局 ☎0942(52)8000
	6月16日	'91 マリジェット in 唐津	唐津市近郊海水浴場	Y.E.S.S.佐賀事務局 ☎0952(32)0811
	6月22日	Y.E.S.S. ボーリング大会	宮崎/延岡	Y.E.S.S.宮崎事務局 ☎0985(24)5515
	6月23日	Y.E.S.S. No.1 CUP 第3戦	福岡カートランド	Y.E.S.S.福岡事務局 ☎092(862)1239
		バイクビレッジ	未定	Y.E.S.S.北九州事務局 ☎093(571)4031
九州		オフロードライディングスクール	山鹿	Y.E.S.S.熊本事務局 ☎096(357)7161
		バイクビレッジ/マリジェット	マリゾン	Y.E.S.S.福岡事務局 ☎092(862)1239
	7月7日	バイクビレッジ(ON)	未定	Y.E.S.S.大分事務局 ☎0975(68)5122
		Y.E.S.S. サマーフェスタ	霧島国民休暇村	YSP 国分 ☎0995(45)5678
		Y.E.S.S. No.1 CUP 第2戦	丸岡カートランド	Y.E.S.S.鹿児島事務局 ☎0992(68)5101
	7月14日	Y.E.S.S. バイクビレッジ	未定	Y.E.S.S.宮崎事務局 ☎0985(24)5515
	7月21日	Y.E.S.S. No.1 CUP	中九州カートウェイ	カートショップスタッフ ☎096(273)0794

BOOK

関根潤三流・若手育成のコツ 『若いヤツの育て方』

関根潤三さんといえば、現プロ野球解説者で、かつてはヤクルトスワローズの監督をはじめ数多いチームのコーチを歴任した、人材育成のプロ。

特に、'89年当時は、徹底指導型のオリックス・上田監督や、組織・管理型の西武・森監督と較べ、自主性尊重型の関根監督が、「こんな上司の下で働きたい」タイプ一位（新卒者）に選ばれています。

基本の積み重ねから、ほんとうの個性が生まれる」という信念のもと、あせらず、じっくり、根気よく、手塩にかけた選手には、山本浩二、衣笠祥雄、高木豊、篠塚利夫、中畑清、池山隆寛、広沢克己、内藤尚などがズラリ。

こうした実績をもとに、若い人たちの扱い方、育て方のポイントを説いたのがこの本です。お店のスタッフとのより円滑なコミュニケーションづくりにお役立てください。1300円。

関根潤三・著 日本実業出版社・刊



MUSIC

久しぶり登場の松田聖子に注目 『オリコン・CDトップ10』

結婚後の復帰以来、ガラリとアイドル路線から変身をはかり、さまざまな

タイプの曲にトライしている松田聖子。プライベートな面では、いまだ恋多き女として雑誌を賑わせていますが、歌の中にもそうした気の多さが見え隠れし、それが逆にファンを心をくすぐっているようです。

今回、3位で初登場した新譜に、さてどうという印象を持たれますか？

順位	タイトル	アーティスト
①	米米クラブ	米米クラブ
②	LINDBERG IV	LINDBERG
③	Eternal	松田聖子
④	Two HEARTS	PSY.S
⑤	Higher Self	氷室京介
⑥	やまだかつてない CD	やまだかつてないWINK 他
⑦	JOY FOR YOU	山下久美子
⑧	WOMANISM II	アン・ルイス
⑨	ONE	KATUMI
⑩	WILL	稲垣潤一

(5/13付 オリコン調べ)

GOODS

カードゲームで政治のお勉強？ 『地上最強内閣ゲーム』

湾岸戦争、ゴルバチョフ大統領の初来日、あるいは統一地方選挙と、今年は今初から政治がらみの大きな話題が連続。急に政治通になった人も多いことでしょう。

そこで、その勢いついでにご紹介するのがこのゲーム。『ゴルド』や『ブセ犬』、『ガン爺』、『サッチャン』など、どこかで聞いたような32人の政治家カードを操り、さまざまな政変を乗り越えて、地球連盟政府の7つのポストを争うものです。

もちろん、政治に詳しい、詳しくな

いなど関係なく誰でも遊べますから、ツリーング先やキャンプの時にみなさんでお楽しみください。1600円。お問合せ/ヨネザワ ☎03-3861-6361



TREND

ジャパニーズトラッド復活！ KIMONO&YUKATA

礼宮さま、紀子さまのご結婚、即位の礼といった皇室行事が、日本の伝統美に対する興味、憧れをかきたてたのか、昨今、キモノ、人氣が若い女性を中心に盛り上がっています。

イタリアファッションの次は和服、と期待する意見もあるようで、昨年夏に開かれた、日本の美・きものというショーには、花井幸子、渡辺雪三郎、コシノヒロコなどのデザイナーズブランドから伝統派呉服メーカーまで、100点を超える出品を集める大規模なものとなりました。

実際に、大手百貨店では冠婚葬祭用訪問用のフォーマルなものを中心に好

調な伸びを示しています。しかし、特に注目を浴びているのは、もっと日常のお出かけに着ていけるオシャレ着感覚の着物。合成繊維を素材



に使って価格を小紋で8万円から10万円程度に設定したブランドも登場し、スーツを買うのと同じ感覚で買える着物として人気です。

また、そんな流れから、この夏は情緒あふれる「ゆかた」も復活。ジャンポール・ゴルチエやユキコ・ハナイ、こむさでもと、寛斎スーパースタジオなど、有名デザイナーズブランドから、新鮮なカラー、デザインのゆかたが続々と発表されています。

'91 YAMAHA NOVELTY

ツーリングに便利な必携小物



●防風防水ライター (No.372016/3800円)
強い風や雨の中など、使用環境を選ばない確実な着火性能を誇るライター。愛煙家はもちろん、キャンパーにもおススメの一品です。



●アーミーナイフ(トラペラー) (No.372065/6500円)
ナイフはもちろん、ハサミやカン切り、ワイヤーナイフなど、多機能装備のアウトドア用ナイフ。ツーリング時に限らず、常に携帯しておくで大変役に立ちます。



●ホビースタッフ (No.372089/4500円)
ドライバーからペンチ、ハンマー、レンチなどを11.5×17×4.5cmのコンパクトなケースに収納。車載工具と合わせて常備しておけば、トラブル時にも安心です。



3戦連続ポール獲得、4戦中2勝がこれまでの成績

WORLD RR

91世界ロードレース選手権シリーズ第4戦

スペインGP

W・レイニー、2度目の3位 ランキングは1ポイント差の2位

第2戦オーストラリアGP。第3戦アメリカGPと、ほぼ完璧なカタチで優勝を飾ったW・レイニー。続くスペインGPでも、3戦連続となるポールポジションを獲得した。

5月12日、20万4000人の観客が見守るなか、決勝レースがスタート。相かわらずのロケットスタートを切りレースをリードし始めたかに見えたレイニーだが、序盤からはやくもタイヤが滑りやすくなり、ベースダウン・ドゥーハンにパスされ、コシンスキーと2位を争うが、後半は3位をキープするのが精一

杯。結局そのままチエッカー、3位に終わった。

また、今シーズンから500ccクラスに参戦するJ・コシンスキーは、オーストラリアGPで3位。得意とするラクナセカでは2位走行中に転倒、リタイアとなったが、スペインではレイニーと争ったうえで2位入賞。予選タイムでも3・4戦でレイニーに続くセカンドポジションを獲得するなど、はやくもトップグループに肩を並べている。

RR

91全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦

SUGO大会

原田哲也、ランキング トップへ浮上!

ロードレースの全日本選手権も迎えて第5戦目。5月12日、舞台SUGO。しかも国際A級部門の主要3クラス(500cc、250cc、TTTFF)が同時開催されるとあって、23000の観衆が詰めかけ、各クラスの熱戦を堪能した。

さてこの日、ファンの喝采を独占したのは、ふたりのヤマハラライダー。250ccの原田哲也(ネスカフェRTヤマハ)と500ccの平忠彦(YRT)の両選手だった。





原田は、予選6番手スタートながらもまず先に第1コーナーに飛び込むと、宇田川勉(ホンダ)と終盤までテールツー・ノーズのトップ争奪戦を披露。最終ラップ直前のレインボーコーナーで、先行する宇田川のインをさして原田は今季初優勝。ランキングテーブルでもトップに躍り出た。「少し風邪気味だったけど、とりあえず頑張って走ろうと思っていったのがよかった。でも、後半ペースが落ちたので今日の走りは70点。これからは、もっと

楽に勝てるマシンに仕上げていきますよ」
一方、500ccクラスの平は、ポールポジションスタート。スタートでやや出遅れるが、先行する岩橋健一郎(ホンダ)、伊藤真二(ホンダ)をパスして、終盤15周目にトップに浮上。そのまま逃げ切り態勢に入るが、ラストに3周半を残した17周目のSPインコーナーでスリップダウン。優勝を伊藤に譲ったものの、決勝レース中のベストラップをマークするなど、平健在を強力にアピールした。

今季初ウインの原田哲也選手

8月に開催されるモトクロス世界選手権に合わせてコースが改修された鈴鹿サーキットモトクロスコースで開催された第4戦は、あいにくの天候。ギャップやわだちがコース各所に現われ、ヒート2がスタートされるころには雨足も強くなり、ひどいマディ状態となった。
決勝前日のタイム計測でセカンドタイムをマークした、YZM250を駆る川崎智之はあまり得意としないマディでのレースで好走。両ヒートともスタート直後の混乱に巻き込まれ、最後尾からの追い上げとなったが、ヒ-

MX 川崎智之の総合3位 チームYZ勢の健闘光る

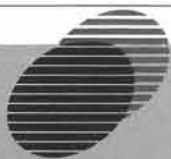
91全日本モトクロス選手権シリーズ第4戦

鈴鹿大会



3クシデント後の追い上げ、特にヒート2での走りは圧巻だった川崎

ト1では7位、ヒート2では3位まで順位をあげ、総合3位をものにした。
第3戦近畿大会で総合優勝を遂げ、ランキングも2位に浮上した光安鉄美は、ヒート15位のうさを晴らすべく、ヒート2ではラスト2周で宮内隆行とトップを争うが、2度の転倒を喫し、6位にとどまった。
またこのレースではチームYZに所属する増田智義が総合4位、鈴木健二が5位を獲得する健闘ぶりをみせた。2人とも一時は3位を走るほどのスピードをみせるなど、今後が楽しみな存在だ。



Brabham YAMAHA

BRABHAM-YAMAHA FORMULA ONE TEAM

・ヤマハF1情報・

ブランチューマシン 『BT60Y』登場

アメリカGP、ブラジルGPを、昨年のシャーンに『OX99』を搭載したマシン『BT59Y』で戦ってきた「ブラバム・ヤマハ フォーミュラワン チーム」は、第3戦、サンマリノGPから、全く新しいマシン『BT60Y』を実戦に投入してきた。

ステアリングホイールのクイックリリース機構を受け継いだ以外、完全なブランチューマシン『BT60Y』の特徴は、ノーズセクションの下側をえぐって取りつけられた、シングル式のブレインフロントウイングと、長円形をしたエアインテーク。そして真上から見ると、ちょうどバイオリンのような独特の形状を持つサイドポンツーンなどがあげられる。

チームディレクターのハービー・ブラッシュは、最新の技術を駆使し、ヤマハとブラバムの共同でデザイン、製作されたこのマシンを「選手権を獲得した『BT52』以来の最高傑作になるだろう」と絶賛。「最初のシリーズで常に10位以内に入賞、ランキング6位以内に入る実力を持っている」とコメントしている。

気になるニューマシンの実力だが、サンマリノGPのフリー走行で計測された最高速はブランドルが316.34km/hで11番手、ブランドルが315.24km/hで13番手を記録。ヤマハの木村プロジェクトリーダーも「トップスピードが上がり、私たちが力をつけてくれる」と話している。

サンマリノGPの結果は、ブランドルが8位、ブランドルが11位で完走。セッティングさえあえば、さらに上位を狙える結果だった。

続くモナコGPは、ブランドルが予選で失格、ブランドルも41周でスピン、リタイアと今1歩の成績だったが、マシンのポテンシャルが高いだけに、今後の走りは期待できるだろう。



ライバルを追う形のシリーズとなった伊藤

TR 中川2位、伊藤5位で シリーズスタート

91全日本トリアル選手権シリーズ第1戦

九州大会

昨シーズン、圧倒的な強さでチャンピオンを獲得した伊藤敦志。今シーズンも最右翼と目されているが、開幕戦の結果は本意といわざるを得ないものとなった。

イージーな第1セクションで減点2で終えてから、最後まで調子がかめず、トップ泉裕朗との差が11の5位。本人も「信じられない」というミスが目立った。それでもレース終了後の伊藤の表情は思いのほか明るかった。「信じられないミスばかり。こんなに悪いのは何年ぶりだろう(笑)。でも、これだけ悪くて

5位なら大丈夫。次からはとり戻すよ」

と、早くも2戦目に焦点を合わせている。

一方、ゼッケン2をつけ、「今年こそチャンピオンを」と意気込む中川義博は、2位に終わる。最少減点は泉より3少ない16、クリンも19をマークし(伊藤は16)ベストクリン賞を獲得しての成績。相かわらず出入りの激しいトライだった。

「ポカが多すぎるね。でも今年は調子がいいんだ。次は勝つから見えてよ」と中川。

シリーズは始まったばかりだが、全7戦と



あと1歩のところで勝てなかった中川

試合数が少ない今年の全日本。追い上げを図る伊藤、調子の良い中川。ライバルの仕上がりのいいよう、今年のシリーズは混戦模様だ。



史上最大のスポーツサイクル・ブームを迎え 業界が足並み揃えて環境整備に尽力

新しいカテゴリーのスポーツサイクル、マウンテンバイクの登場とともに、一気にブームに火がついたスポーツサイクル業界。需要の拡大に合わせるようにオリジナルのコンセプトを持った個性的なショップも続々とオープンし、いまこの業界は活気にあふれている。

そこで今回は財団法人日本自転車普及協会をお訪ねし、ブームを底で支えるショップの活動と動向を追ってみることにした。

スポーツ車の需要拡大により 生産記録を更新中

「昨年あたりからでしょうか、街の中でカラフルなスポーツサイクルを見かけることが多くなりましたね。」

「ええ、マウンテンバイクが特に若い方を中心に支持されています。需要は順調に伸びています。平成2年は生産台数が79万8825台に達して、史上最高だった昭和58年に次ぐ2番目の記録となりました。ただ昨年の場合は高価格のスポーツ車の需要が高まりましたので、実質的には史上最大の自転車ブームとさえそうです。」

「マウンテンバイクを中心としたスポーツサイクルが、これだけ急激に人気が高まった理由はどこにあるのでしょうか？」

「やはり人々の健康志向にあるのでしょう。アウトドアブームの盛り上がりとともに、やっとならスポーツサイクルがアウト

ドアを楽しむための道具として認知されただんただと思います。'90年代は「この時代の」ということですが、そうした理由もあるかもしれませんね。」

「ただ、俗に言う自転車公害をはじめ、問題も少なくないようですね。」

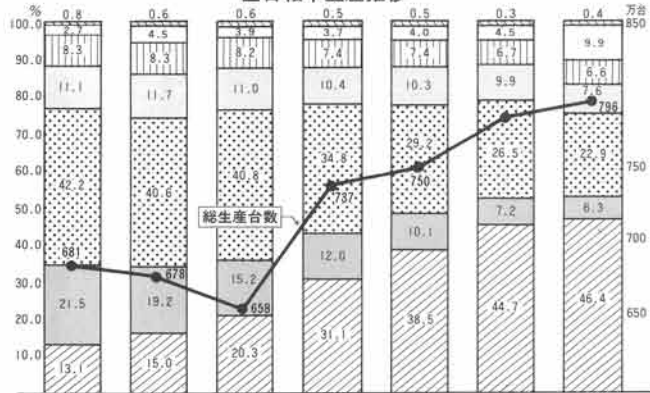
「はい、これはいまに始まったことではないのですが、自転車の路上放置は深刻な問題になっています。ただこちらの問題に関しては販売店を含めた自転車業界と、地域の方々の協同作業も進められてまして、大きな成果をあげた地区からの報告も届くようになりました。」

それ以上に私たちが危惧しているのは乗り手のマナーの低下です。歩道を高速で走るスポーツサイクルや無灯火運転が、あたり前に行なわれているのが現状です。マウンテンバイクが登場してからは、新たな問題も発生してきていますし。」

「と言いますと。」

「自転車のフィールド以外のところを走

■自転車生産推移



日本自転車工業会が通産省機械統計と大蔵省貿易統計でまとめた平成2年(1-12月)の自転車生産台数は7,968,825台で、前年同期の7,792,401台に比べ176,424台、2.3%増を記録、史上第2位だった昨年の生産台数を更新した。

国内向け出荷台数は8,473,898台で史上最高だった昨年の8,537,273台に比べ7,834台、0.7%減で史上2位に終わったが、金額では前年を633億7,500万円、6.6%も上回り、史上最高を達成した。

実用車 特殊車 幼児車 子供車
ミニサイクル スポーツ車 軽快車

時代に合わせて変わりゆく 現代自転車販売店像

「そのような背景の中で、自転車販売店に変化は見られますか。」

「ええ、昔ながらの地域密着型の商売を

るようになってきているんです。たとえば山の中、トレッキングを楽しむ人たちの横でダウンヒルをやったり……。自然環境について本気で考える時代に入っていますので、見逃がすことはできませんよ。」



する店と、一定の商圏を持たずに遠方からもお客さんを呼べるプロショップ的な店に二極化しているようです。特に後者のようなショップはここ数年のブームに乗って各地にオープンして、それぞれが一本筋の通ったコンセプトを打ち出しているのが特徴です

——ショップ独自のコンセプトとは、具体的にはどのようなものなんですか。

「それは各ショップによって違うのですが、ハードを主体にする店と、ソフトを主体にする店に分けられるでしょう。ソフトを売るといのは非常に抽象的なのですが、つまりスポーツサイクルを使っているのかということまで提案しているということです。もっと具体的に言うとトライアルの大会を開いたり、ツーリング、ヒルクライムと、いままで知らなかった遊びを紹介して、ブームをさらに盛り上げようということですね。このマウンテンバイクを中心としたスポーツサイクルのブームが、いま以上に盛り上がるとしたら、こうしたショップの活動にかかってくるのではないのでしょうか」



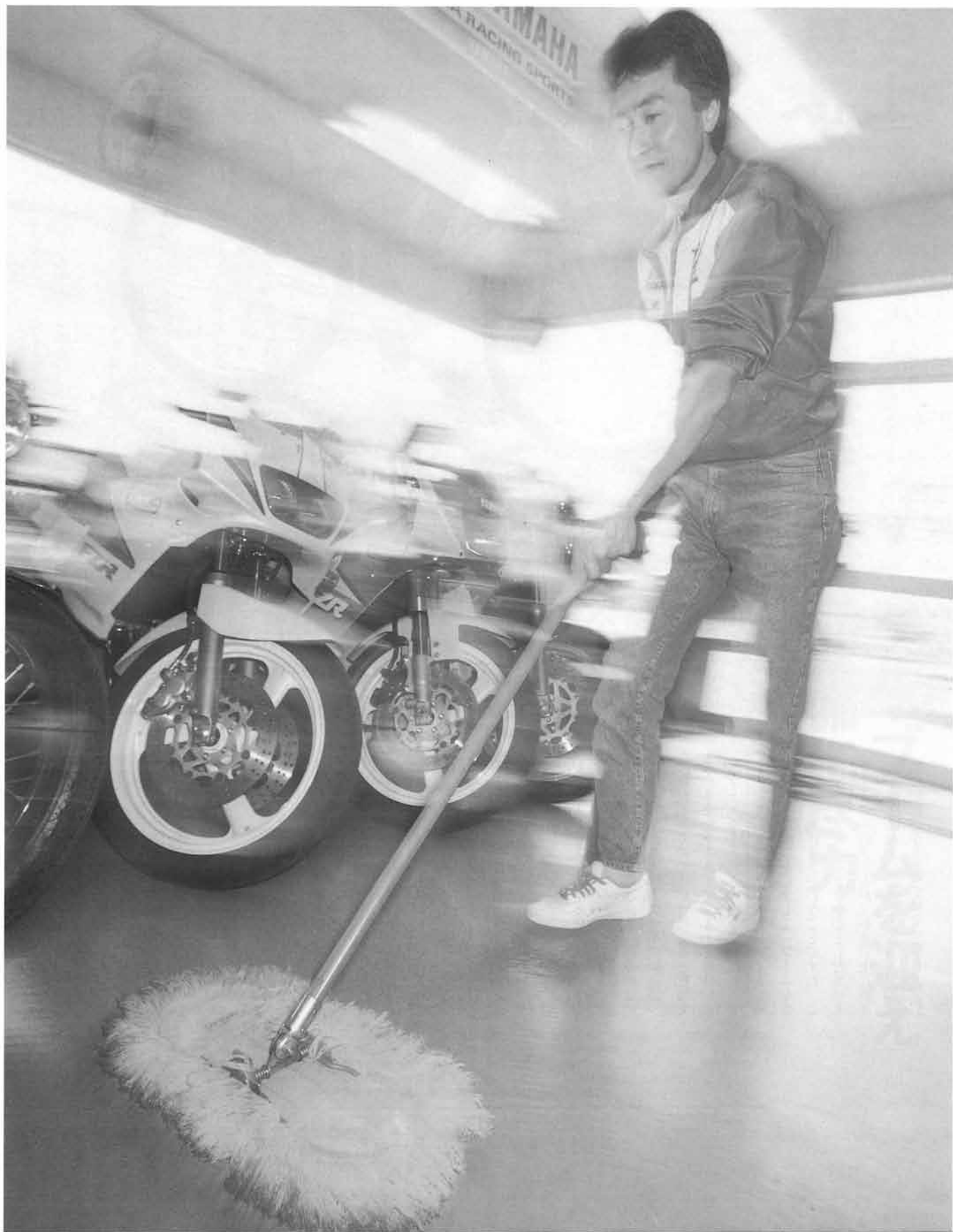
各地に独自のコンセプトを持ったショップが続々とオープンしている

お店づくりのキーワードは クリーン&フレッシュ!

お店はきれいで明るく、そしていつもイメージは新鮮に

YSP鶴岡 佐藤 勉社長

山形県鶴岡市大字布目字中通185 ☎0235-24-2566





大型車が行き交う街道 最大の敵は砂とホコリ

採光のよい大きな窓ガラスから朝陽が店内を広く覆う。シャツ、シャツ、シャツ、シャツ。手ぎわよく床を掃く音がリズムカルに響きわたる。

——朝、9時。YSP鶴岡さんの1日は床を掃く音で目覚める。社長の佐藤さんとサービスの三浦さん、男2人所帯ながらこの日課は1日たりとも欠かさない。

山形県の沿岸部、国道7号線が内陸に大きくく回し、国道47号線や112号線と交わる庄内平野の中心が鶴岡市である。もと酒井藩13万8千石の城下町として栄え、また庄内米の集散地として地域経済の「へそ」としてもにぎわった町だ。

日本海側経済の重要基幹路、国道7



入口付近は特に砂ほこりがたまりやすいので念入りに行なう

号線のバイパス路となる大山街道沿いにYSP鶴岡さんはあった。

お訪ねしたとき、お店は開店準備の

まっ最中。開店の9時30分に向けて、背の高い佐藤さんと、小柄な三浦さんが右へ左へよく動く。

「ちょっと待ってね、すぐ終わるから」佐藤さんの言葉にしばらく開店準備を見守ることにした……。

定刻の開店となった店内で、あらためて佐藤さんとあいさつ。

YSP鶴岡の社長、佐藤勉さん（33歳）。昭和62年3月にJR鶴岡駅前が開店、63年12月に現在の大山街道沿いに移った。

「こゝ（大山街道）は国道7号線のバイパスが完成するまで、そのかわりとして利用されているんです。交通量が多いので商売上は確かに有利だよ。でも、その反面、荷を満載したダンブ



3日に一度のワックスがけ。光沢部分を光らせるのがコツとか。細かなキズがつかないように細心の注意を払う

や大型トラックがひんばんに通るのでほら、この通りなんだ」

店の周囲をさつと掃いただけのチリ

取りにはホコリと砂が一杯に集められていた。ちよつと外に出ているだけでも取材ノートにはうつつすらとホコリがかかるほど。なるほどこのホコリは油断ならない。

「砂とホコリは春の3月と4月がとくにひどいね。商品も朝に洗っても夕方にはホコリまみれ。そのままにしておいたら新車だってあつという間に中古車みたいですよ、ハハハハ」

だからウチではこまめな掃除が日課なんだ、と佐藤さんは言う。

何十万円もする商品をお客さまに気持ちよく見てもらい、安心して買ってもらうためには、商品をいつも美しい状態にしておくことは当然、と強調する。



ほこりが多いだけに、ウィンドーの状態にも気をくぼる

クリーンアップは 日常の意識から

YSP鶴岡さんでは3日に1回は展示車の清掃とワックスがけを行なう。雨に降られた翌日には、ローテーションにかかわらず必ず洗車。

「バイクを洗うときには付着したホコリでキズ付かないように、必ず水で流しながら。スポンジでやさしく撫でるようにね。洗ったあとには定期的にワックスもかけているんだ。なんせ店には2人しかいないもんで、接客やサービスの合間にやらなければいけない。でもね、きれいにしよう。って意識を常に持ち続けたいとお店のクリーンアップはできませんからね」

メイン商品はもちろんモーターサイクル。しかし、ウェアやヘルメットなどの用品も決して見逃すことはできない。佐藤さんの厳しい目は、当然こうした用品にも向けられる。

「もちろん用品だつておそろいかにはできないよね。開店前の掃除じゃ、用品にまでは手が回らないけど、その分、お客さまが来店されない合間には用品管理もかねてちよちよ掃除をするんだ」

言いながらさつと立ち上がった佐藤さんは用品ひとつ一つのホコリを払っていく。手に持つのは新品のタオル。マシンの清掃はスポンジ、用品は新品のタオルが原則、だそうだ。

商品の小まめな配置がえてひとつの商品にインパクト

ウェアのホコリを取りながら、佐藤

バイクは何十万円もする商品だからお客さまには気持ちよく来店してもらいたい

きれいなテーブルと汚ないテーブル 人が集まるのはどちらだろうか？って考えたんですよ

さんはちよつと考え、商品の順番を入れかえる。クラブも手にとり、またちよつと思案して並べかえる。

「集客のためにも本当はカラフルなウェアは窓ぎわに置きたいんだ。ただ、ウチの店は東向きに建っているから朝陽が強烈に差し込む。そーするとな、蛍光色のウェアなんかはまず1週間で

色あせしちゃうだろうね。かといつて店の奥で埋もれさせておくことはできないし。なんとかお客さまにインパクトを与えるためには小まめに商品位置を変えろと、ディスプレイを変更するとかの工夫が必要なんだ」
お客さまが訪ねてきて1週間前と同じ位置に同じ商品が並んでいたのでは

新鮮味もなくなる。商品位置がちよつと変わるだけで埋もれがちな商品にもインパクトが生まれる、と佐藤さんは読んでる。

ディスプレイの変更は店のイメージのフレッシュアップと同時に、商品をうまく回転させる相乗効果も生まれるのだ。

店内の模様替えは シーズンを1カ月前取り

「ウチは年4回、ディスプレイをすべて変更する。季節ごとに合ったテーマだね。お客さまも、楽しみにしてくれているみたいだね」

店内の模様替えは季節を先取りして行なわれる。アウトドアシーズンがテーマとなる初夏の模様替えは5月、スノーモビルシーズンを迎える冬のディスプレイは10月半ば……。お客さまが季節を肌で感じるおよそ1カ月前を目標にしているのだ。

「お客さまがいつ来られても自分の顔はいつも一緒。自分の顔が変わらんから、せめて店のイメージだけは変えようと思つてさ。ハハハハ」

シヨップをクリーンで、しかもフレッシュなイメージに保つ。商品だけでなく店舗そのものもクリーンに、と佐藤さんは気を配る。そのためにショールームの大きなガラスは1週間に1回、店舗の外壁もお客さまに応援を求めて1年に1回は清掃する。

「お店を、商品をきれいにする努力は売り上げに結びついているんでしょか？ ちよつぱり意地の悪い質問をぶつけてみた。」

すこし考えて、佐藤さんは「私にも、それはわからないよ(笑)」。でもね、たとえばあなたがドライバインに入ったとしますよね。きれいなテーブルと汚ないテーブルがあったら、どちらに座ります？ きれいなところにこそお客さんは安心して気持ちよく集まるんじゃないでしょうか」

当たり前だけど、忘れていたこと。単純明快、説得力のある言葉として返つてきた。

販売店さんの「質」が求められているいま、YSP鶴岡さんはその質の一つ、シヨップのクリーンアップを通して、バイクシヨップのイメージを変えようとしていた。

お別れする間際、佐藤さんが言った「商品や店舗をきれいにしておくのは商売をする者にとつてのつとめじゃないだろうか」との言葉が強い印象として心に残つた。



佐藤社長(左)とサービスの三浦さん。身につけるウェアは、やはり清潔なもの



外に展示する車両は定期的に洗車



サービス工場での作業。床を汚さないための工夫



ウェア、ヘルメットの掃除は気づいたときにただ綺麗にするのではなく、並べかえも行なう





■YSP鶴岡

バイクシーズンは、オン、オフロードのツーリングやエンデューロレースが盛ん。真夏にはマリッジット、そしてシーズンオフにはスノーモビル。雪が多い地方のため、シーズンは4月～10月と短い、一年中遊べる店として若者層を中心に数多いお客さまを魅きつけている。主婦層などスクーター客の獲得、地域に密着した商売がこれからの課題

●オープン：昭和62年3月、63年12月に現在地に移転●店舗規模：150坪の敷地に2階建て店舗。ショールーム24坪、サービス工場18坪、2Fは倉庫●展示台数：ショールーム内はスポーツを中心に10台前後、オープンスペースにはスクーターを中心に15台ほど。現在はシーズンインに向け、マリッジットを展示している●商圏：スポーツは店を中心に半径15km、スクーターは市内●客層20代～30代のスポーツユーザーが中心●クラブ：TEAM BENZ / (ベンツ) オン オフツーリングからエンデューロレース、マリッジット、スノーモビルと広範囲な活動を展開●営業時間：午前9時30分～午後7時●定休日：毎週水曜日



早朝から明るい陽射しが差し込むショールーム

小物の展示もひと工夫。思わず覗き込みたくなる



外からでもその品数の豊富さが分かる用品コーナー



テーマを決めた展示は季節の移り変わりを考慮してある

